

[2237] 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
児童文化論			講義	吉田裕美子	3年	後期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択	小学校	幼稚園	保育士				
2	15	30		2	☆	☆					
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に活用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》
	—		—				—				
	○		○				○				
	—		—				—				
当該科目の キーワード	≪知識・理解≫		各年齢段階の遊びの理解								
	≪汎用的技能≫		言語表現力								
	≪態度・志向性≫		グループワーク								
授業概要	児童文化について基礎的な学習をし、保育者としての視野を広め、保育技能を高める。絵本、遊び歌、シアター製作など保育で活かせる遊びを通して保育に活用できる言葉・技術等を学ぶ。受講人数に合わせて授業方法・形態を吟味しながら進め、体験的な学びの場を目指す。									グループディスカッション、グループワーク	
授業の 到達目標	子どもの発達と絵本、紙芝居、パネルシアター、言葉遊び等に関する知識と技術を理解する。まずは、各自の幼少期体験を思い出すことから始め、現代社会の中で生きる子どもたちの現状に目を向けつつ、子どもが児童文化に親しみ保育環境を理解する。児童文化教材の特性を理解し、実際に教材作りを行い、子どもの遊びやイメージを豊かにし、感性を養う環境構成や、保育の展開方法を理解する。										
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									
	1	保育と児童文化とは何か 予習:(90分) 「子ども文化」と「児童文化」 復習:(90分) 子ども観の変遷									
	2	子どもの文化財の歴史的背景 予習:(90分) 子どもの文化財の成り立ちを学ぶ 復習:(90分) 子どもの文化財の歴史を知ることの意義									
	3	子どもの発達とことば遊びの特性と理解 予習:(90分) 子どもの発達と絵本の特性・理解 復習:(90分) 子どもの発達に応じた絵本とは									
	4	子どもが「絵本」と出会う時「絵本」というメディア 予習:(90分) 絵本と子どもの発達 復習:(90分) 絵本の種類、選び方とは									
	5	絵本と子ども 予習:(90分) 絵本を用いた実践 復習:(90分) 実演、振り返り									
	6	子どもと遊び ①「子どもの文化財の役割と活用法」 予習:(90分) 絵本と子どもの発達 復習:(90分) わらべうたや手遊びに触れる									
	7	子どもと遊び ②「昭和時代の子どもの様子を通して考える」 予習:(90分) 時代背景について調べる 復習:(90分) グループワークを通して学ぶ									
	8	子どもと遊び ③「おやつ文化・お菓子の変遷」「おまけの文化」 予習:(90分) 時代背景について調べる 復習:(90分) グループワークを通して学ぶ									
	9	児童文化財①「絵本・幼年童話・児童文学」 予習:(90分) 絵本を読む環境づくりについて 復習:(90分) 年齢に合わせた教材選びと実践									
	10	児童文化財②「紙芝居・人形劇・影絵・ペープサート・エプロンシアター」 予習:(90分) 教材を使って保育方法・技術を学ぶ 復習:(90分) 年齢の発達に合わせた教材選びと実践									
	11	児童文化財③「昔話・素話・わらべうた・伝承遊び」 予習:(90分) 教材を使って保育方法・技術を学ぶ 復習:(90分) 年齢に合わせた教材選びと実践									
	12	シアター製作①(教材作り) 予習:(90分) 子どもの文化財を手作りする 復習:(90分) お話の場面割り									
	13	シアター製作②(教材作り) 予習:(90分) 子どもの文化財を手作りする 復習:(90分) お話の場面割りと読み方の工夫としめくり									
	14	様々なシアターを使っての保育の展開を学ぶ 予習:(90分) 子どもの文化財を手作りする 復習:(90分) お話の場面割りと読み方の工夫としめくり									
	15	保育教材の研究発表とまとめ(手作り教材の実演) 予習:(90分) リハーサル(班ごとに作成した作品の確認) 復習:(90分) 保育現場で実践、振り返り、講評									
教科書・教材	特になし										
参考書・ 参考文献等	特になし										
履修上の 注意等	動きやすい服装を心がけること。表現活動には積極的・実践的に取り組むこと。										
実務経験との 関連	実務経験 の有無	無									

[2241] 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
児童心理学研究法			演習	小林琢哉	3年	後期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無		
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士			
2	15	30		2	☆						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら課題へ適用し、その課題を解決する能力》	
	○	—	○	○	○	○	○	—	—		○
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		心理学における実験・調査法の実践							授業内で課したレポート課題に対して添削・コメントをつけて返却する。	
	≪汎用的技能≫		適性なデータ収集と分析の方法								
	≪態度・志向性≫		仮説検証による問題解決の志向								
授業概要	目標：各種性格検査、心理実験、尺度の実施とデータ分析を通じて、心理的手法による人間理解の実際について学ぶとともに、心理・教育統計の基礎とその使用方法を習得する。								心理実験・調査の実施及びデータの解析		
授業の到達目標	①各種性格検査の体験を通じてパーソナリティ測定の方法と理論を理解し、その内容を説明できる。 ②錯視・記憶などの基礎的心理実験の実施とデータ分析により心理実験の方法を理解し、実験実施と結果をレポートにまとめることができる。 ③心理尺度の作成実習を通じて心理尺度構成法を理解し、その内容を説明できる。										
単位認定の要件	上記①～③の目標到達度に関するレポート評価の合計が60点以上であること。										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									
	1	心理実験の方法と記述統計 予習:(90分)心理学におけるデータの収集・分析方法について復習しておく。 復習:(90分)授業内の実験で得られたデータについて記述統計量を算出しグラフ化する。									
	2	性格検査①エゴグラム 予習:(90分)エゴグラムの理論的背景について調べる。 復習:(90分)エゴグラムの測定結果と性格についての自己理解とを比較考察する。									
	3	性格検査②YG性格検査(TEG-III) 予習:(90分)YG性格検査の成り立ちを調べる。 復習:(90分)YG性格検査の結果と性格についての自己理解とを比較考察する。									
	4	性格検査③NEO-PIR 予習:(90分)Big5理論について調べる。 復習:(90分)NEOの測定結果とその他の性格検査との違いについて比較検討する。									
	5	性格検査④クレペリン検査 予習:(90分)作業検査法について調べ、方法論上の特徴を把握する。 復習:(90分)実施結果と作業曲線の結果を要約し、自分の特徴を記述する。									
	6	心理実験①鏡映描写 予習:(90分)学習の両側性転移について調べる。 復習:(90分)実験結果から、学習の両側性転移が認められたかどうかを考察する。									
	7	心理実験②ミュラー・リヤー錯視 予習:(90分)ミュラー・リヤー錯視の大きさに影響すると思われる要因について検討する。 復習:(90分)実験の結果をもとに、錯視に影響する要因について考察する。									
	8	心理実験③ストループ効果 予習:(90分)注意の過程における「抑制」について調べる。 復習:(90分)ストループ課題の実験結果を分析し、その意味について考察する。									
	9	実験レポートのまとめ方 予習:(90分)ストループ効果の実験についての分析を行っておく。 復習:(90分)実験で得られたデータの分析結果からどのようなことが考えられるかをレポートにまとめる。									
	10	心理実験④先延ばし傾向 予習:(90分)日常生活において、取り組むべき課題を先延ばしにした経験の有無と、その時の心理について考える。 復習:(90分)先延ばし傾向の強さについて質問紙調査の結果をもとに考察する。									
	11	心理実験⑤日常記憶 予習:(90分)注意の偏りとは何か、その測定方法について学ぶ。 復習:(90分)実験結果から、注意の偏りがどの程度見られたかを考察しまとめる。									
	12	心理実験⑥視覚探索 予習:(90分)特徴探索・結合探索について調べておく。 復習:(90分)実験結果をもとに、視覚探索の過程について考察する。									
	13	心理実験⑦系列位置効果 予習:(90分)記憶の仕組みについて調べる。 復習:(90分)実験の結果をもとに、記録リストの系列位置が記録しやすさを与える影響について考察する。									
	14	心理実験⑧パーソナルスペースの測定 予習:(90分)パーソナルスペースについて調べる。 復習:(90分)実験結果から、パーソナルスペースについてどのようなことが言えるかを考察する。									
	15	心理実験⑨潜在的態度(Implicit Association Test) 予習:(90分)社会心理学における態度について調べる。 復習:(90分)IATの実験結果を参考に、潜在的な態度や偏見について考察する。									
教科書・教材	特になし										
参考書・参考文献等	兵藤宗吉・須藤智(編)認知心理学基礎実験入門 八千代出版										
履修上の注意等	実験実施に支障をきたすので遅刻をしないように心がけること。										
実務経験との関連	実務経験の有無	無									

【2305】 専門教育科目 教科に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
算数			演習	齋藤昭	3年	前期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30		1		○				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	
	○	—	—	○	—	○	○	—		—
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		小学校算数科の指導内容の理解、算数授業の指導法を理解する							授業内提出物や期末レポートにはしっかりと目を通し、疑問があれば答えていく。
	≪汎用的技能≫		教材研究の仕方、算数授業の展開の仕方を身に付ける							
	≪態度・志向性≫		算数科の授業研究を通して小学校での授業作りへの意欲的な態度を身に付ける							
授業概要	小学校算数科の目標、内容を理解させ、児童に対してどのような教材でどのような授業展開で理解させていくかという授業構成力を確実に身に付けさせる。算数科の内容理解の際には、単に内容理解だけではなく、具体的な授業実践例をもとに、授業展開の仕方についても考えさせていく。授業づくりの方法を考える際には、問題提示の仕方、発問、板書の仕方、ノート指導といった、授業づくりに直接的に役立つ内容も盛り込んで理解させていく。									
授業の到達目標	具体的には、次の事項について学習する。 ① 小学校学習指導要領から、小学校算数科の指導内容を理解する。 ② 各領域の指導内容を理解し、具体的な指導方法について考える。 ③ 算数科の教材研究の方法を理解する。 ④ 算数科の授業づくりについて考える。									
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	なぜ算数を学ぶのか 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	2	算数の授業づくり1(問題解決型学習とは) 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	3	学習指導要領を読み解く 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	4	「数と計算(下学年)」領域の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	5	「数と計算(上学年)」領域の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	6	「図形」領域の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	7	「測定・変化と関係」領域の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	8	「データの活用」領域の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	9	算数の授業づくり2(発問・板書・ノート指導) 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	10	算数の授業づくり3(教材研究法と教科書を用いた授業) 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	11	算数の授業づくり4(問題提示場面の工夫) 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	12	算数の授業づくり5(問題づくりの授業とオープンエンドアプローチの授業) 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	13	算数の授業づくり6(子どもの言葉で授業をつくり、表現力を育てる) 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	14	算数の授業づくり7(ハンズオンマス) 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	15	これからの算数学習 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
教科書・教材	「小学校学習指導要領解説(算数編)」									
参考書・参考文献等	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校 算数) 国立教育政策研究所教育課程研究センター									
履修上の注意等	自分が小学校教員になったらどのような算数の授業を展開するかという意識をもって、講義に参加してください。疑問に思ったことや意見、感想なども積極的に発表してください。									
実務経験との関連	実務経験の有無	有	小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、具体的な授業場面をもとに指導す							

【2307】 専門教育科目 教科に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
理科			演習	友田志郎	3年	前期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無				
			必修	選択	小学校	幼稚園	保育士							
1	15	30		1	○				期末試験	70	有			
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート		
	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—		—	—	計
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		科学知識の基礎的理解									期末試験後、正答を示す		
	≪汎用的技能≫													
	≪態度・志向性≫											アクティブラーニングの有無(内容)	無	
授業概要	小学校理科教育の為に必要となる基礎的な知識について講義する。													
授業の到達目標	①生物の基本的な分類。それぞれの生物の形態及び行動上の特徴、からだの仕組みを理解する ②物質の相、状態の変化、性質の変化について理解する ③力とその作用、光・音、及び電気と磁気の性質について理解する ④様々な気象現象、及び季節と天文の関わりについて理解する ⑤さまざまな地形の成り立ちや、地殻変動について理解する													
単位認定の要件	到達目標①～⑤の合計が60点以上であること													
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容												
	1	生物の分類。五界説。脊椎動物の分類と形態。節足動物。 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	2	植物の分類。植物の生長 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	3	人体の構造 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	4	動物の行動。動物の繁殖 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	5	物質。温度と体積。気体。液体。固体。 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	6	燃焼。物質の化学変化。 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	7	物質の構造 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	8	力と運動。てこの原理。バネの働き。振り子の原理。 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	9	光と音。反射・屈折・回折 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	10	電気回路。電圧・電流・抵抗。直列と並列 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	11	水溶液。電解質とイオン。電気分解。電池 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	12	電流と磁力 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	13	地球の大気と気候。気象現象。 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	14	地球・太陽・月と暦。太陽系。宇宙と天体 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	15	地球の構造。火山と岩石。地形と水の働き。 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
教科書・教材	特になし													
参考書・参考文献等	特になし													
履修上の注意等	基礎的な内容なので、ノートをまとめ、しっかりと復習すること													
実務経験との関連	実務経験の有無	無												

【2401】 専門教育科目 各教科の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
国語科教育法			演習	澤村美千代	3年	前期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無						
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士							
2	15	30		2		○			期末試験						
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート	40	無				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	20
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	授業内提出物	20	有
													授業内活動	20	有
													その他		
													計	100	
													フィードバックの方法		
													①時間内に教師が答えを発表し、 学生に自己採点させる。 ②提出物等の結果は、ICTの活用 や口頭により、全体に解説する。		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		新学習指導要領・言語の教育・国語学力									アクティブラーニングの有無 (内容)	有		
	《汎用的技能》		発表・質問・話し合い												
	《態度・志向性》		協働性・探究性												
授業概要	国語科教育の目標・内容(教材)・方法(技術)等を体系的に学び、小学校国語科の授業者に求められる資質・能力を形成するため、授業では、講義のほか、学生の主体的学習(演習)や話し合い活動(協議)、ICTの活用等も積極的に取り入れる。											演習、個別・ペア・グループワーク 学習等			
授業の 到達目標	①国語科の構造(国語教育と国語科教育)及び国語科の学習内容について、理論的に理解する。 ②新学習指導要領の趣旨を踏まえ、小学校国語科で育成する資質・能力について探究する。 ③国語科授業における効果的な指導法やICTを活用した指導技術の基礎を修得する。														
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。														
授業計画 (予習、復習の内容 ・時間含む)	回	内 容													
	1	【新学習指導要領①】「改訂の経緯・要点」全体構成、国語科で目指す資質・能力、国語科の目標・内容(国語教育と国語科教育、国語学力等) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく													
	2	【新学習指導要領②】知識及び技能(1)言葉の特徴や使い方(話し言葉と書き言葉、漢字と語彙、文と文章)(言葉による見方・考え方等) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく													
	3	【新学習指導要領③】知識及び技能(2)情報の扱い方(情報の扱い方、情報と情報の関係、情報の整理)(学習指導計画と評価) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく													
	4	【新学習指導要領④】知識及び技能(3)我が国の言語文化(伝統的な言語文化、言葉の由来、書写、読書)(指導計画の内容の取扱い①) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく													
	5	【新学習指導要領⑤】思考力、判断力、表現力「A 話すこと・聞くこと」の学習過程と指導事項、言語活動例(指導計画の内容の取扱い②) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく													
	6	【新学習指導要領⑥】思考力、判断力、表現力「B 読むこと・書くこと」の学習過程と指導事項、言語活動例(学習指導計画①) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく													
	7	【新学習指導要領⑦】思考力、判断力、表現力「C 読むこと」の学習過程と指導事項、言語活動例(学習指導計画②) 授業内小テスト① 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく													
	8	【新学習指導要領⑧】「語彙指導の改善・充実」学習指導要領と言語活動の充実(教材開発課題①) 授業内小テスト② 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく													
	9	【新学習指導要領⑨】「非連続テキスト(文章と図表)を読む指導の改善・充実」(教材開発課題②) 授業内小テスト③ 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく													
	10	【新学習指導要領⑩】「我が国の言語文化に関する指導の改善・充実」(言葉の由来や変化、書写に関する事項(教材開発課題③)) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく													
	11	【新学習指導要領⑪】「学年別漢字配当表」(都道府県名の漢字の追加「漢字指導の改善・充実」(学習指導案作成①)) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく													
	12	【新学習指導要領⑫】「読書に関する事項」(学校図書館の利活用、読書活動の推進(学習指導案作成②)) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく													
	13	【国語科授業改善①】国語科における「主体的・対話的で深い学び」(ICTの活用)(国語科教育の歴史①) 国語科基本用語小テスト① 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく													
	14	【国語科授業改善②】国語科における「授業(学習)評価の改善・充実」(ICTの活用)(国語科教育の歴史②) 国語科基本用語小テスト② 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく													
15	【国語科授業改善③】言葉による「見方・考え方」の整理 (ICTの活用)(学校における国語教育・国語科教育) 国語科基本用語小テスト③ 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく														
教科書・教材	文部科学省(平成29年告示)『小学校学習指導要領解説 国語編』(東洋館出版2018) 田近洵一・大熊徹他編『小学校国語科授業研究第五版』(教育出版2018) レジューメ														
参考書・ 参考文献等	吉田裕久・水戸部修治編著『小学校学習指導要領ポイント総整理』(東洋館出版)														
履修上の 注意等	授業内容の理解と定着のため、読んだり、書いたり、考えたりする活動を重視する。教科書の該当部分等、予習して授業に臨む。														
実務経験との 関連	実務経験 の有無	有	小学校教諭として、小学校での授業、教育委員会の研修会や校内研修会の講師、教育書籍の執筆等の実務経験をもとに、国語教育及び国語科教育の理論や知識、技能を理解させ、具体的、実践的に学んでもらう。												

[2402] 専門教育科目 各教科の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
社会科教育法			演習	大瀬勝彦	3年	前期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士				
2	15	30		2	○				期末試験			
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート		
	○	○	○	—	—	—	○	○		—	○	授業内小テスト
										授業内提出物	60	有
										授業内活動	30	有
										その他	10	無
										計	100	
										フィードバックの方法		
当該科目のキーワード		≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫	社会科教育のねらいの理解 学習指導案作成・模擬授業の実施 学習指導案の修正・地域教材への取り組み						学習指導案で示された指導構想に対しての指導・助言を行い、学習指導案の精度を高める。 アクティブラーニングの有無(内容) 有			
授業概要		○社会科の学習指導要領の趣旨を具体的事例を提示しながら解説する。 ○教材研究、学習指導案作成、模擬授業実践を通して、発問の仕方、資料提示の仕方・活用等実践につながる方法を指導・助言する。						グループディスカッション、相互評価、模擬授業				
授業の到達目標		社会科教育の理解と社会科授業実践に向けて ①学年ごとの学習指導要領(社会科)の要点を説明することができる。 ②単元を通した問題解決的学習の全体計画を作成することができる。 ③学習指導案作成と模擬授業を行い、修正することができる。										
単位認定の要件		学習指導案の作成、模擬授業の内容が60%以上評価できる内容であること。										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容									
		1	オリエンテーション 予習・解説の「第1章 総説 1改訂の経緯及び基本方針」を熟読する(30分) 復習・解説の「第1章 総説 2社会科改訂の趣旨及び要点」を熟読する(60分)									
		2	社会科の目標及び内容 予習・解説の「第2章 第1節社会科の目標」を熟読する(45分) 復習・解説の「第2章 第2節社会科の内容構成」を熟読する(45分)									
		3	第3学年の目標及び内容 予習・解説の「第3章 第1節 第3学年の目標」を熟読する(30分) 復習・解説の「第3章 第1節 第3学年の内容」を熟読する(60分)									
		4	第4学年の目標及び内容 予習・解説の「第3章 第2節 第4学年の目標」を熟読する(30分) 復習・解説の「第3章 第2節 第4学年の内容」を熟読する(60分)									
		5	第5・6学年の目標及び内容 予習・解説の「第3章 第3節 第5学年の目標及び内容」を熟読する(45分) 復習・解説の「第3章 第4節 第6学年の内容及び内容」を熟読する(45分)									
		6	教材研究の視点 予習・模擬授業実施単元の候補を2〜3に絞る(30分) 復習・決定した単元の指導計画の素案を検討する(60分)									
		7	地域素材の教材化 予習・地域教材の素材を探す(30分) 復習・どの単元で取り上げるのか検討する(60分)									
		8	社会科における評価について 予習・学習評価の在り方ハンドブックを熟読する(30分) 復習・評価計画の作成(60分)									
		9	学習指導案の作成(指導案作成の基本) 予習・実施単元の決定(30分) 復習・本時のねらいの検討(60分)									
		10	学習指導案の作成(指導案作成のキーポイントの確認) 予習・学習課題の素案検討(30分) 復習・学習課題の決定と展開の検討(60分)									
		11	学習指導案の作成(指導案作成実施) 予習・前段部分の素案作成(30分) 復習・展開部分の素案作成(60分)									
		12	学習指導案の作成(指導案完成・相互評価) 予習・板書計画の素案作成(30分) 復習・評価計画の作成(60分)									
		13	模擬授業の実施(模擬授業・相互評価〜3学年授業) 予習・作成した学習指導案の熟読(30分) 復習・作成した学習指導案の修正(60分)									
		14	模擬授業の実施(模擬授業・相互評価〜4学年授業) 予習・作成した学習指導案の熟読(30分) 復習・作成した学習指導案の修正(60分)									
		15	模擬授業の実施(模擬授業・相互評価〜5・6学年授業) 予習・作成した学習指導案の熟読(30分) 復習・作成した学習指導案の修正(60分)									
教科書・教材		「新しい社会科 3年」(東京書籍)、「新しい社会科 4年」(東京書籍)「小学校学習指導要領解説 社会科編」(文部科学省)										
参考書・参考文献等		小学生の地図帳(帝国書院)「新しい社会科 5年」(上、下)(東京書籍)「新しい社会科 6年」(歴史編、政治・国際編)(東京書籍)										
履修上の注意等		教育実習・教育現場で、社会科の授業実践に対応できるよう、学習指導案作成・意見発表等で積極的な取り組みをお願いします。										
実務経験との関連		実務経験の有無	有	県内中学校で社会科を担当。青森県総合学校教育センター義務教育課指導主事として、5年間初任者研修・経験者研修・選択研修で社会科を担当。教頭2校7年、校長3校8年の15年間、各校の行内研修の助言・指導を行った。在外教育施設で3年間勤務経験あり。								

【2403】 専門教育科目 各教科の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
算数科教育法			演習	齋藤昭	3年	後期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
2	15	30		2		○				
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的 理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーション スキル 数量的 スキル 情報リテラシー 論理的 思考力 問題 解決力			≪態度・志向性≫ 自己 管理能力 チーム ワーク リーダー シップ 倫理 観 社会的 責任 生涯 学習 力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末試験 期末レポート 30 有 授業内小テスト 授業内提出物 20 有 授業内活動 50 有 その他 計 100 フィードバックの方法
	○	—	○	○	—	○	○	—		○
当該科目の キーワード	≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫		小学校学習指導要領の内容理解及び系統性 思考力・判断力・表現力 学びに向かう態度、意欲						模擬授業については研究協議の中で指導していく。期末レポート、授業内提出物については、コメントを記入し返却する。質問については、講義の中で解説していく。 アクティブラーニングの有無(内容) 有	
授業概要	小学校算数科の目標について理解し、算数の領域の内容及び具体的な教材について、子どもに学習させるねらいと教材の本質はどのようなことであるのかについて解説する。実際の授業の中で子どもがどのような考え方をしているのか、それに対応するための指導はどのようなものかを考察させる。指導案の書き方を指導し、作成した指導案をもとに模擬授業を行い、研究協議を行っていく。						グループディスカッション、グループワーク			
授業の 到達目標	①小学校学習指導要領(算数編)の見方・考え方を理解し、算数・数学の各領域における内容及び系統性を把握できる。 ②日常の事象から見いだした事柄を、数学的な手法を用いて算数・数学の舞台に乗せる方法について理解できる。 ③算数・数学の特性について理解し、授業づくりに生かすことができる。 ④指導案の様式や各項目の内容について理解し、指導案を作成し、模擬授業を行うことができる。									
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	ガイダンス(講義の内容、グループ構成、模擬授業の担当決めなど) 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	2	教員による模擬授業及び研究協議 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)研究協議会の内容を振り返る。								
	3	学習指導案の作成 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	4	学生による模擬授業及び研究協議1 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)研究協議会の内容を振り返る。								
	5	学生による模擬授業及び研究協議2 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)研究協議会の内容を振り返る。								
	6	学生による模擬授業及び研究協議3 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)研究協議会の内容を振り返る。								
	7	学生による模擬授業及び研究協議4 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。								
	8	学生による模擬授業及び研究協議5 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。								
	9	学生による模擬授業及び研究協議6 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。								
	10	学生による模擬授業及び研究協議7 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。								
	11	学生による模擬授業及び研究協議8 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。								
	12	学生による模擬授業及び研究協議9 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。								
	13	学生による模擬授業及び研究協議10 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。								
	14	これからの算数学習1(プログラミング教育と文章題の指導) 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。								
15	これからの算数学習2(令和の日本型教育) 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。									
教科書・教材	小学校学習指導要領解説(算数編)									
参考書・ 参考文献等	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校 算数) 国立教育政策研究所教育課程研究センター									
履修上の 注意等	小学校教員になったら、どのような授業を展開していくかを常に考えて講義に臨んでください。また、講義の前に、Google Classroomに講義資料を掲載するので、事前に目を通し講義に参加するようにしてください。									
実務経験との 関連	実務経験の有無	有	小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、指導案の作成、模擬授業を通して体系的な授業場面をもとに指導する。							

【2405】 専門教育科目 各教科の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
生活科教育法			演習	齋藤昭	3年	前期	こども発達学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士								
2	15	30		2			○			期末試験							
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				期末レポート	30	有				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト			
	○	—	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—	○	—	授業内提出物	20	有
															授業内活動	50	有
															その他		
															計	100	
															フィードバックの方法		
															模擬授業については研究協議の中で指導していく。期末レポート、授業内提出物については、コメントを記入し返却する。質問については、講義の中で解説していく。		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		学習指導案作成・模擬授業を通して生活科の授業の理解									アクティブラーニングの有無 (内容)	有				
	《汎用的技能》		コミュニケーションスキル														
	《態度・志向性》		チームワーク・児童のよさを伸ばす教師の支援と評価														
授業概要	生活科の目標や内容の理解をもとに、8つの内容について指導案作成や模擬授業等を取り入れながら、指導法を解説する。模擬授業を行った後は、グループごとに授業を振り返る研究協議を行わせる。低学年児童の一人一人のよさや可能性を引き出す指導と評価、支援のあり方はどうあるべきかについて考えさせ、実践的な指導力を習得させていく。											グループディスカッション、グループワーク					
授業の 到達目標	①生活科の目標・内容を理解する。 ②生活科の教材分析から学習指導案作成までの一連の方法や手順を理解し、学習指導案を作成することができる。 ③模擬授業等において、児童一人一人のよさや可能性を引き出す指導ができる。																
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	ガイダンス(講義の内容、グループ構成、模擬授業の担当決めなど) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。															
	2	学習指導案の作成Ⅰ 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。															
	3	教員による模擬授業及び研究協議Ⅰ 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。															
	4	学習指導案の作成Ⅱ 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。															
	5	教員による模擬授業及び研究協議Ⅱ 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)研究協議会の内容を振り返る。															
	6	学生による模擬授業及び研究協議1(わたしのあさがお) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)研究協議会の内容を振り返る。															
	7	学生による模擬授業及び研究協議2(がっこうだいすき1) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)研究協議会の内容を振り返る。															
	8	学生による模擬授業及び研究協議3(がっこうだいすき2) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。															
	9	学生による模擬授業及び研究協議4(あそびにこうよ) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。															
	10	学生による模擬授業及び研究協議5(なつをさがし) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。															
	11	学生による模擬授業及び研究協議6(まちたんけん) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。															
	12	学生による模擬授業及び研究協議7(つくってあそぼうこどもちや) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。															
	13	学生による模擬授業及び研究協議8(わたしたんけん) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。															
	14	これからの生活科学習Ⅰ 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。															
15	これからの生活科学習Ⅱ 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
教科書・教材	小学校学習指導要領解説(生活編)																
参考書・ 参考文献等	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校 生活) 国立教育政策研究所教育課程研究センター																
履修上の 注意等	自分だったらどう指導するかを常に考えながら講義に臨んでください。また、講義資料は事前にGoogleクラスルームに掲載するので、目を通して疑問点や自分の考えをまとめてから講義に臨んでください。																
実務経験との 関連	実務経験の有無	有	小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、指導案の作成、模擬授業を通して、具体的な授業場面をもとに指導する。														

【2406】 専門教育科目 各教科の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
音楽科教育法			演習	一戸智之	3年	後期	こども発達学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無										
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士											
2	15	30		2	○				期末試験										
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート	70	有								
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	10	有			
	○	—	○	—	—	○	○	—	○	○	—	○	—	○	—	○	授業内提出物	10	有
																	授業内活動	10	有
																	その他		
																	計	100	
																	フィードバックの方法		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		音楽理論、歌唱法、ピアノ伴奏法、リコーダーの奏法						弾き歌いの技能を問う実技試験は、全員による発表会形式で実施し、教員による講評と履修者全員で振り返りを行うとともに、個別指導を通じて各々の課題を明確化し継続的な取り組みを促進する。										
	《汎用的技能》		指導方法・技術																
	《態度・志向性》		グループ活動、協調学習																
授業概要	小学校音楽科で扱われる歌唱、ピアノ、鍵盤ハーモニカ、リコーダー、各種打楽器について、基礎的な奏法と具体的な指導の留意点を解説・実演し、実技指導を行う。学習指導要領における「表現」および「鑑賞」の学びを深化させるため、最新の実践研究や「共通事項」を軸とした指導の本質を構築し、適切な評価規準の設定方法と評価の実施手順を提示する。また、教育現場を想定した模擬授業の機会を設け、学習指導案の検討や指導技術の改善に向けた個別指導および合評（講評）を行うことで、理論と実践を統合した授業構想力の向上を支援する。									グループワーク、グループディスカッション、グループ発表									
授業の 到達目標	①小学校の表現および鑑賞活動において、教材の特性に応じた適切な歌唱およびピアノ伴奏ができる。 ②リコーダー、鍵盤ハーモニカ、和楽器等の基礎的な奏法を身に付け、児童の発達段階に応じた適切な演奏指導を提示できる。 ③初等音楽教育の指導に不可欠な基礎的な音楽理論を習得し、楽譜の正確な解釈や楽曲分析に活用できる。 ④全学年の歌唱共通教材および鑑賞教材について、楽曲の構造や特徴を分析し、それに基づく表現や鑑賞のポイントを説明できる。 ⑤学習指導要領に基づき、音楽科の授業設計、評価規準の設定、および具体的な指導技術について、教育現場を想定して立案・実践できる。																		
単位認定の要件	到達目標①～⑤の合計が60点以上であること。																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																	
	1	本授業の目的、概要と計画 予習：(20分)テキストI「小学校音楽科の意義」(テキスト6ページ～)を通読し、音楽科教育の趣旨を理解する。 復習：(30分)15回の授業を受講するにあたって必要とされる音楽理論及び技能について各自確認し、学習目標・計画を立てる。																	
	2	小学校学習指導要領音楽科の目標、各学年の目標と指導内容 予習：(20分)学習指導要領の内容を構造的に理解する。 復習：(30分)小学校学習指導要領解説音楽編第2章以降を通読し、概略を理解する。																	
	3	子どもの音楽の理解と音楽的発達、歌唱共通教材研究①(低学年) 予習：(20分)歌唱共通教材低学年について歌唱実践とピアノ演奏を通じて歌詞や旋律、リズムの特徴を理解する。 復習：(40分)「曲想と音楽を形づくっている要素」を理解しながら弾き歌いの練習をする。																	
	4	鍵盤ハーモニカリコーダーの奏法と指導法～音楽づくりの発想を得る指導や見通しをもった活動、歌唱共通教材研究②(中学年) 予習：(20分)歌唱共通教材中学年について、歌唱実践とピアノ演奏を通じて歌詞や旋律、リズムの特徴を理解する。 復習：(40分)「曲想と音楽を形づくっている要素」を意識しながら弾き歌いの練習をする。																	
	5	リコーダー、鍵盤ハーモニカ、歌唱による音楽づくり 歌唱共通教材研究③(高学年) 予習：(20分)歌唱共通教材高学年について、歌唱実践とピアノ演奏を通じて歌詞や旋律、リズムの特徴を理解する。 復習：(40分)「曲想と音楽を形づくっている要素」を意識しながら弾き歌いの練習をする。																	
	6	歌唱共通教材の弾き歌い発表会、器楽合奏と音楽づくり～「共通事項」に示されている「音楽を形づくっている要素」の知覚と感受 予習：(60分)弾き歌い課題曲の音程やリズム等を確認し、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図を持つ。 復習：(30分)各グループで本時の発表について振り返りを行い、グループディスカッションを通じてより豊かな表現力の向上を目指す。																	
	7	ICTを活用した鑑賞領域の指導法～曲想及びその変化と音楽の構造との関わり 予習：(20分)小学校学習指導要領解説音楽編鑑賞領域に関する箇所を通読しておく。 復習：(30分)配布資料を再読し、自己課題を明確化する。																	
	8	器楽合奏中間発表会と振り返り 予習：(60分)各グループで課題曲についてディスカッションを行い、どのように演奏するかについて思いや意図をもち、発表会に生かしていく。 復習：(30分)各グループで中間発表について振り返りを行い、本発表に向けて改善すべき点を明確化する。																	
	9	学習指導計画の作成とその基本的な考え方 予習：(30分)テキストIII「学習指導計画の作成」(テキスト60ページ～)を通読しておく。 復習：(60分)各グループで学習指導計画の意義を理解し、模擬授業実践に向けて音楽科の題材構成と「共通事項」の内容を理解する。																	
	10	器楽合奏発表会と振り返り 予習：(60分)各グループでディスカッションを行い、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもち。 復習：(30分)各グループで本時の発表会の評価を行い、今後の器楽領域の指導実践に生かせるようにする。																	
	11	評価の観点及びその趣旨、評価規準の作成方法 予習：(30分)テキストIII「学習指導計画の作成」5 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善及び6 音楽科の評価」を通読しておく。 復習：(60分)各グループごとに学習指導案の内容を検討する。																	
	12	教材研究と学習指導案の作成 予習：(60分)各グループで学習指導案の本時の学習内容、学習活動、教師の働きかけ、評価規準等を検討する。 復習：(60分)次回以降の模擬授業実践のための準備・リハーサルを行う。																	
	13	模擬授業①(低学年)～実践と振り返り 予習：(60分)小学校学習指導要領解説音楽編の教科の目標、低学年の目標及び内容、指導計画の内容と取扱いについて確認しておく。 復習：(30分)各グループで本時の模擬授業の振り返りを行い、改善点を明確化し、今後の授業実践に生かせるようにする。																	
	14	模擬授業②(中学年)～実践と振り返り 予習：(60分)小学校学習指導要領解説音楽編の教科の目標、中学年の目標及び内容、指導計画の内容と取扱いについて確認しておく。 復習：(30分)各グループで本時の模擬授業の振り返りを行い、改善点を明確化し、今後の授業実践に生かせるようにする。																	
	15	模擬授業③(高学年)～実践と振り返り 予習：(60分)小学校学習指導要領解説音楽編における教科の目標、高学年の目標及び内容、指導計画の内容と取扱いについて確認しておく。 復習：(30分)各グループで本時の模擬授業の振り返りを行い、改善点を明確化し、今後の授業実践に生かせるようにする。																	
教科書・教材	「新版 教員養成課程 小学校音楽科教育法(教育芸術社)」「小学校学習指導要領解説 音楽編(文部科学省)」「小学生の音楽1～6(教育芸術社)」「最新 学生の音楽通論(音楽之友社)」「五線譜ノート(各自用意してください)」																		
参考書・ 参考文献等	小学校学習指導要領 音楽																		
履修上の 注意等	ピアノ実技については毎日の練習を心がけてください。																		
実務経験との 関連	実務経験の有無	無																	

[2407] 専門教育科目 各教科の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
図画工作科教育法			演習	蛭名敦子	3年	後期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修		選択		小学校	幼稚園	保育士		
2	15	30	○		○		○	○	○	○	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》
	○		○		○		○	○	○	○	
	○		○		○		○	○	○	○	
	○		○		○		○	○	○	○	
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 造形的見方・考え方、造形的特徴の理解		提出作品をみんなで鑑賞したり、ワークシート、学習指導案について検証し合い、指導を加える。								
	≪汎用的技能≫ 材料・用具の扱い方、創意工夫する能力										
	≪態度・志向性≫ つくりだす喜び、共同製作、協働的な造形活動		アクティブラーニングの有無(内容)		有						
授業概要	図画工作科の学習指導要領について、材料や用具、子どもの実態、題材論の観点から分析的に理解を進め、実践的に表現と鑑賞の指導内容を理解する。それらの基礎的知識や技術を基に、題材を考案したり教科書などから選択し、教材化して学習指導案を作成する。									グループワーク、実習	
授業の到達目標	学習指導要領を通して図画工作の学習内容について多角的な理解ができ、実際に表現や鑑賞の実践を通して、指導に必要な基礎的知識や技術を習得する。また、題材を考案し、教材化して、安全面、環境を考慮した学習指導案を作成することができるようになる。										
単位認定の要件	到達目標の合計が60点以上であること。										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									
	1	学習指導要領の改訂とこれからの図画工作科の在り方、目標 予習:(30分) 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	2	学習指導要領の分析的理解1(材料・用具の扱い) 予習:(30分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	3	学習指導要領の分析的理解2(子供の発達過程) 予習:(30分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	4	学習指導要領の分析的理解3(題材論) 予習:(30分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	5	表現1 造形遊びについて(実践例の紹介と材料の準備) 予習:(30分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	6	造形遊びの実践(造形活動と鑑賞) 予習:(30分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	7	表現2 立体、工作に表す活動について(実践例の紹介と材料) 予習:(30分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	8	立体製作の実践 予習:(30分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	9	立体作品の鑑賞と振り返り(ワークシート) 予習:(30分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	10	表現3 絵(コラージュ)(モチーフの収集、発想・構想) 予習:(30分) 作品の題材について事前に考える。 復習:(30分) 製作の材料を準備する。									
	11	絵(コラージュ)(製作、創造的技能) 予習:(30分) 授業内容について事前に学習し準備をする。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	12	絵(コラージュ)の鑑賞 予習:(30分) 授業内容(鑑賞)について事前に学習し準備をする。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	13	学習指導案の形式的理解と学習指導案作成に向けて 予習:(30分) 授業内容について事前に学習し準備をする。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	14	学習指導案の作成 予習:(30分) 授業内容について事前に学習し準備をする。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	15	学習指導案の検討、講義全体の総括 予習:(30分) 授業内容について事前に学習し準備をする。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
教科書・教材	『小学校学習指導要領解説 図画工作編』文部科学省										
参考書・参考文献等	授業の中で適宜、紹介する。										
履修上の注意等	指示に従って、必要な材料・用具などは各自準備すること。										
実務経験との関連	実務経験の有無	有	小学校現場については、管理職(校長)として現場経験があり、その経験を活かして、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、具体的な授業場面をもとに指導する。								

【2408】 専門教育科目 各教科の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
家庭科教育法 I			演習	工藤寧子	3年	前期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択	小学校	幼稚園	保育士				
2	15	30		2	○				期末試験	50	有
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に活用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 20 有 授業内活動 30 有 その他 計 100 フィードバックの方法
	○	—	—	○	—	—	—	○	○	○	
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		家庭科教育の意義								期末試験は試験後に解説を行う。授業内提出物・活動は、授業内でコメントをする。 アクティブラーニングの有無(内容) 有
	≪汎用的技能≫		課題設定力と計画力、聞き手にわかりやすく話す発信力								
	≪態度・志向性≫		自己管理する規律性								
授業概要	家庭科教育の変遷をふまえて、家庭科の意義・目標・内容を把握し、現代の生活課題について解説する。また、学習指導案の作成、授業づくりの工夫、家庭科における評価方法の基礎的・基本的な力を説明し、生徒の実践に即した学習指導案と評価を計画する能力の向上を促す。									グループワーク、模擬授業	
授業の到達目標	①小学校・中学校・高等学校家庭科教育の意義がわかる。 ②小学校・中学校・高等学校家庭科教育の目標・内容のについて理解する。 ③学習指導案の作成、学習評価をするための基礎的・基本的な力を身に付ける。 ④教材研究の視点を持つことができる。										
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									
	1	ガイダンス、小・中・高等学校の家庭科の振り返り 予習:(90分) 家庭科の内容を振り返ってまとめる 復習:(90分) 小・中・高等学校の家庭科の教科書を読む									
	2	家庭科教育の意義、学習指導要領について、小学校・中学校・高等学校家庭科の位置付け 予習:(90分) 学習指導要領の確認 復習:(90分) 家庭科教育の意義を理解する									
	3	小学校の家庭科 目標及び内容、教科書の内容を把握、指導計画 指導上の問題点 予習:(90分) 学習指導要領の確認 復習:(90分) 小学校の目標と内容を覚える									
	4	中学校の家庭科 目標及び内容、教科書の内容を把握、指導計画 指導上の問題点 予習:(90分) 学習指導要領の確認 復習:(90分) 中学校の目標と内容を覚える									
	5	高等学校の家庭科 目標及び内容、教科書の内容を把握、指導計画 指導上の問題点 予習:(90分) 学習指導要領の確認 復習:(90分) 中学校の目標と内容を覚える									
	6	年間の指導計画、学習指導と評価の計画 予習:(90分) 学習指導要領の確認 復習:(90分) 学習指導計画の立て方を理解する									
	7	学習指導案の比較、教材研究 予習:(90分) 既存の学習指導案に目を通す 復習:(90分) 授業内容を振り返る									
	8	模擬授業観察の方法、模擬授業学習指導案の作成 予習:(90分) 小・中・高等学校の学習内容に目を通す 復習:(90分) 学習指導案の作成									
	9	模擬授業と相互評価(A領域) 予習:(45分) 学習指導案の作成 復習:(45分) 授業内容の振り返り、学習指導案の修正									
	10	模擬授業と相互評価(A領域) 予習:(45分) 学習指導案の作成 復習:(45分) 授業内容の振り返り、学習指導案の修正									
	11	模擬授業と相互評価(B領域) 予習:(45分) 学習指導案の作成 復習:(45分) 授業内容の振り返り、学習指導案の修正									
	12	模擬授業と相互評価(B領域) 予習:(45分) 学習指導案の作成 復習:(45分) 授業内容の振り返り、学習指導案の修正									
	13	模擬授業と相互評価(C領域) 予習:(45分) 学習指導案の作成 復習:(45分) 授業内容の振り返り、学習指導案の修正									
	14	模擬授業と相互評価(C領域) 予習:(45分) 学習指導案の作成 復習:(45分) 授業内容の振り返り、学習指導案の修正									
	15	模擬授業全般についてまとめ 予習:(0分) 復習:(180分) 自身の課題を考え、まとめる									
教科書・教材	小学校学習指導要領解説 家庭編 わたしたちの家庭科5・6(開隆堂)、新しい家庭5・6(東京書籍)										
参考書・参考文献等	特になし										
履修上の注意等	・授業計画(順序)は変更される場合がある。 ・教科「家庭」が基礎科目となるため、使用した資料・教材を持参すること。										
実務経験との関連	実務経験の有無	無									

[2409] 専門教育科目 各教科の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
体育科教育法			演習	上野秀人	3年	前期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士								
2	15	30		2		○			期末試験	20	無					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 授業内活動 その他	無 無 無 無 無			
	○	—	—	○	—	—	○	○	○	—	○	—	—	○	計	100
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		体育科教育学、授業づくり													
	≪汎用的技能≫		構想力													
	≪態度・志向性≫		協働性									アクティブラーニングの有無(内容)	有			
授業概要	新小学校学習指導要領解説書 体育編に沿い、学習指導計画の目的、ねらい、作成法等について解説する。特に、情報機器の活用を含めた授業づくり、場の工夫や教材開発といった教師の手だてについて「学校体育実技指導資料」や「授業場面の映像」等を用いて比較・解説したり、意見交流等を行ったりする。										グループワーク、模擬授業					
授業の到達目標	目標：小学校学習指導要領解説書 体育編の概要が理解できるとともに、学習指導計画の目的、ねらい、作成法等が理解できるようにする。 テーマ：「体育の授業づくり基礎」															
単位認定の要件	到達目標の合計が60点以上であること。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	体育科教育とは、「体育科教育法」の目的、及び、概要・計画 予習：(45分) 小学校学習指導要領解説書「まえがき」「目次」を読むことと量感をつかむ 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う														
	2	体育学習と法 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う														
	3	体育の「目標及び便益」と「授業の実際」【参考：授業場面の映像】 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う														
	4	小学校学習指導要領 体育編の読取り【参考：文科省HP】 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う														
	5	教材化・手だての工夫、運動の特性【参考：学校体育実技資料】 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う														
	6	学習指導計画の概要・構想(ICT等の活用を含む) 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う														
	7	指導案の作成方法【参考：指導案の作成手順】 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う														
	8	授業づくり1「単元の構想」(ICT等の活用を含む) 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う														
	9	授業づくり2「指導計画と評価計画」(ICT等の活用を含む) 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う														
	10	授業づくり3「本時の構想、手だての工夫」 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う														
	11	授業づくり4「指導案記載事項の整合性、指導と評価」 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う														
	12	模擬授業と授業改善【参考：模擬授業撮影による省察・振り返り】 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う														
	13	保健学習に関する基本概念 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う														
	14	保健授業の指導と評価 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う														
	15	体育科教育の実践研究の動向【参考：インターネット活用調査】 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う														
教科書・教材	「小学校学習指導要領解説 体育編」 文部科学省															
参考書・参考文献等	「学校体育実技指導資料 ゲーム及びボール運動」文部科学省(DVD) 「学校体育実技指導資料 器械運動指導の手引き」文部科学省(DVD)															
履修上の注意等	書式に合せた学習指導案作成の基礎力習得、及び、積極的な意見交換を期待する															
実務経験との関連	実務経験の有無	有	小学校及び在外教育施設における指導経験のある教員が、その経験を活かして、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、具体的な授業場面をもとに指導する													

[2410] 専門教育科目 各教科の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
外国語(英語)教育法			演習	杉本久美子	3年	後期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
2	15	30		2	○				期末試験	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート 60 有 授業内小テスト 授業内提出物 20 有 授業内活動 20 有 その他 計 100 フィードバックの方法
	○	○	—	○	—	○	—	—	—	○
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		小学校での英語教育に必要な教授法について学ぶ。							期末試験は採点后返却し、解答の説明を行う。授業内活動と提出物についてはその都度内容確認と所見を伝える。 アクティブラーニングの有無(内容) 有
	≪汎用的技能≫		指導内容に応じた教授法で英語を教えられるようになる。							
	≪態度・志向性≫		英語を用いた授業に積極的に取り組む姿勢を身につける。							
授業概要	本授業では小学校における外国語教育の変遷、学習指導要領に記載されている目標や内容を理解する。小学校の授業で使用する教材や教科書の趣旨について学ぶとともに、授業構成の仕方や各指導法の特性と効果、ICTの活用法などについて学び、実践してみる。								教材作成、各指導方法の実演等	
授業の到達目標	目標：小学校の外国語活動や教科として外国語を指導するうえで必要とされる外国語学習法やその指導法、評価について基本的な知識・技術の習得を目標とする。 テーマ：小学校外国語教育に関する基礎知識と指導法を理解し、実践する。									
単位認定の要件	授業内提出物(20%)、授業内活動(20%)および期末レポート(60%)の合計が60点以上であること。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	授業概要(使用教材、授業展開方法、成績評価方法)について説明する。小学校英語教育の変遷と意義について説明する。 予習:(30分) 『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編』の学校段階別の目標について内容を確認する。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。 ※各回の予習に関しては授業内にて指示。復習は各回同様。								
	2	小学校学習指導要領、外国語および外国語活動の目標と内容、両者の相違点について説明する。 予習:(30分) 『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編』の学校段階別の目標および5つの領域別の目標について内容を確認する。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。 ※各回の予習に関しては授業内にて指示。復習は各回同様。								
	3	小学校における英語教育の現状と役割(年齢・学年別特徴と適した教材・指導方法)について説明する。 予習:(30分) 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	4	母語および第二言語習得理論、コミュニケーション能力の育成についてその特徴と内容について解説する。 予習:(30分) 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	5	関連領域からみる小学生の特徴と英語教育のありかた 予習:(30分) 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	6	代表的な外国語(英語)教授法 予習:(30分) 復習:(30分)								
	7	授業実施のための環境づくり、学校や児童の多様性への対応、異文化理解の視点ラスルー・イングリッシュ、ALT等とのチーム・ティーチングによる指導のあり方 予習:(30分) 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	8	英語の音声と綴りの特徴およびフォニックス指導 予習:(30分) 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	9	教材開発と活用(デジタル教材と電子黒板、タブレット端末の活用も含む) 予習:(30分) 復習:(30分)								
	10	年間指導計画・単元計画と目標の意義と目的について解説する。 予習:(30分) 外国語活動、外国語科での授業時間数(年間、月間、週間)について調べる。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	11	外国語活動でのCan-Doリストと振り返り、外国語活動での評価の仕方と、児童からのコメントの活用方法とその意義について解説する。 予習:(30分) 外本時の学習内容の復習と定着を図る。国語活動と外国語科の違いについて再度確認する。 復習:(30分)								
	12	指導案作成および模擬授業①(授業の導入) 予習:(30分) 復習:(30分)								
	13	指導案作成および模擬授業②(導入から展開へ) 予習:(30分) 復習:(30分)								
	14	指導案作成および模擬授業③(展開からまとめへ) 予習:(30分) 復習:(30分)								
15	授業内容総括(これまでの学習内容の振り返りとまとめ) 予習:(30分) これまでの授業で学んだことを振り返り、定着を図る。 復習:(30分) 各授業で学習した指導法、教材研究、などを復習し、期末課題の作成に活かす。									
教科書・教材	『小学校英語の練習帳 授業づくりに役立つスキルとアイデア』 宮田 学 編 稲葉みどり 著 ¥2000+税 萌文書林									
参考書・参考文献等	『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編』									
履修上の注意等	授業内活動には積極的な姿勢で取り組むこと。									
実務経験との関連	実務経験の有無	無								

【2513】 専門教育科目 領域に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
子どもの食と栄養			演習	山田和歌子	3年	後期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無		
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士			
2	15	30		2		○	○		期末試験	80	有
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、自ら課題へ適用し、その課題を解決する能力》		
	○	—	○	○	—	○	—	○	○	○	○
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫		子どもの成長と発達に合わせた食と栄養に関する理解 食育指導を実践できる力 保育者として問題解決のための考察が出来る								
授業概要	保育所、幼稚園、小学校、特別支援学校で子どもの教育や保育に携わる際に必要な食生活と栄養の特性について学ぶ。子どもの食生活の現状と課題について学び、適切な支援・対応ができるよう、グループワーク、ディスカッション、発表等を交えながら学ぶ。									グループディスカッション、グループワーク	
授業の到達目標	1)子どもの健康と食生活、成長と発達について理解を深める。 2)栄養に関する基本的な知識を理解する。 3)乳・幼・学童期の栄養と食生活の特徴を理解する。 4)食育基本法について理解し子どもの食教育について支援できる。 5)家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について学ぶ。 6)疾病および体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもについて基礎知識を理解できる。										
単位認定の要件	到達目標の1)～6)の合計が60点以上であること。										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									
	1	オリエンテーション 子どもの健康と食生活 予習:(45分)ラパスを読んで、講義概要や到達目標などを理解する。教科書の第1章を読み予習する。 復習:(45分)講義内容、講義目標、到達目標、評価方法などを確認する。子どもの食生活の現状及び課題を理解する。									
	2	栄養に関する基本的知識 食べ物の消化と吸収、食物中の栄養素の役割、食品の分類、食事摂取基準について 予習:(45分)教科書の第2章を読み予習する。 復習:(45分)食べ物の消化と吸収、食物中の栄養素の役割、食品の分類、食事摂取基準についてノートをとる、理解する。									
	3	栄養に関する基本的知識 糖質、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラル、水分について 予習:(45分)教科書の第2章を読み予習する。 復習:(45分)糖質、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラル、水分についてをまとめ、理解する。									
	4	栄養に関する基本的知識 献立作成と調理の基本 予習:(45分)教科書の第2章を読み予習する。 復習:(45分)献立の基本についてをまとめ、理解する。									
	5	栄養に関する基本的知識 衛生管理(食中毒、食品表示) 予習:(45分)教科書の第2章を読み予習する。 復習:(45分)衛生管理(食中毒、食品表示)についてをまとめ、理解する。									
	6	子どもの発育・発達と食生活 子どもの発育・発達の基本、胎児期(妊娠期)の食生活 予習:(45分)教科書の第3章を読み予習する。 復習:(45分)子どもの発育・発達の基本、胎児期(妊娠期)の食生活についてをまとめ、理解する。									
	7	子どもの発育・発達と食生活 乳児期の授乳・調乳について 予習:(45分)教科書の第3章を読み予習する。 復習:(45分)乳児期の授乳・離乳の意義と食生活についてをまとめ、理解する。									
	8	子どもの発育・発達と食生活 乳児期の離乳の意義と食生活 予習:(45分)教科書の第3章を読み予習する。 復習:(45分)乳児期の授乳・離乳の意義と食生活についてをまとめ、理解する。									
	9	子どもの発育・発達と食生活 幼児期の心身の発達と食生活 予習:(45分)教科書の第3章を読み予習する。 復習:(45分)幼児期の心身の発達と食生活についてをまとめ、理解する。									
	10	子どもの発育・発達と食生活 学童期の心身の発達と食生活、生涯発達と食生活 予習:(45分)教科書の第3章を読み予習する。 復習:(45分)学童期の心身の発達と食生活、生涯発達と食生活についてをまとめ、理解する。									
	11	家庭や児童福祉施設における食事と栄養 予習:(45分)教科書の第5章を読み予習する。 復習:(45分)家庭や児童福祉施設における食事と栄養についてをまとめ、理解する。									
	12	特別な配慮を要する子どもの食と栄養 疾病および体調不良の子どもへの対応、障害のある子どもへの対応 予習:(45分)教科書の第6章を読み予習する。 復習:(45分)疾病および体調不良の子どもへの対応、障害のある子どもへの対応についてをまとめ、理解する。									
	13	特別な配慮を要する子どもの食と栄養 食物アレルギーのある子どもへの対応 予習:(45分)教科書の第6章を読み予習する。 復習:(45分)食物アレルギーのある子どもへの対応についてをまとめ、理解する。									
	14	食育の基本と内容 予習:(45分)教科書の第4章を読み予習する。 復習:(45分)食育の基本と内容についてをまとめ、理解する。									
	15	グループ発表・反省・評価・まとめ 予習:(45分)各グループで発表のリハーサルを行う。 復習:(45分)試験に向けてノートや配布資料をまとめ授業全体の復習をする。									
教科書・教材	「子どもの食と栄養 第3版 保育現場で活かせる食の基本」(羊土社)										
参考書・参考文献等	「最新 子どもの食と栄養 食生活の基礎を築くために」(学建書院) 「子どもの食と栄養 改訂第3版」(中山書店)										
履修上の注意等	進め方については変更する場合があります。その際は事前にお知らせします。										
実務経験との関連	実務経験の有無	無									

【2514】 専門教育科目 領域に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
子育て支援			演習	安川由貴子	3年	後期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30		1		○		○	期末試験	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に自ら設定し、自ら課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート 70 無 授業内小テスト 授業内提出物 10 有 授業内活動 20 有 その他 計 100 フィードバックの方法
	≪知識・理解≫ 子育て家庭に対する支援の展開の基本の理解		≪汎用的技能≫ 子育て家庭の実態を踏まえた課題分析力と問題解決力の育成			≪態度・志向性≫ 保育者としてのチームワーク力と倫理観の醸成			ミニ発表用の提出物は、印刷して授業時に共有する。コメント・ペーパーの内容や質問は授業内で適宜共有する。	
	≪知識・理解≫ 子育て家庭に対する支援の展開について、ニーズに対する気づき・理解とアセスメント、基本技術、計画・評価、職員間・関係機関や専門職との連携・協働、社会資源の活用観点から具体的に学べるように脱説やグループ討議を行う。また、子育て家庭に対する支援の実態について、様々な場や対象に即した理解を深めるため、事例検討を行う。								アクティブラーニングの有無(内容) 有	
	≪知識・理解≫ 子育て家庭に対する支援の展開について、ニーズに対する気づき・理解とアセスメント、基本技術、計画・評価、職員間・関係機関や専門職との連携・協働、社会資源の活用観点から具体的に学べるように脱説やグループ討議を行う。また、子育て家庭に対する支援の実態について、様々な場や対象に即した理解を深めるため、事例検討を行う。								グループディスカッション、発表	
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 子育て家庭に対する支援の展開について、ニーズに対する気づき・理解とアセスメント、基本技術、計画・評価、職員間・関係機関や専門職との連携・協働、社会資源の活用観点から具体的に学べるように脱説やグループ討議を行う。また、子育て家庭に対する支援の実態について、様々な場や対象に即した理解を深めるため、事例検討を行う。		≪汎用的技能≫ 子育て家庭の実態を踏まえた課題分析力と問題解決力の育成			≪態度・志向性≫ 保育者としてのチームワーク力と倫理観の醸成			アクティブラーニングの有無(内容) 有	
授業概要	子育て家庭に対する支援の展開について、ニーズに対する気づき・理解とアセスメント、基本技術、計画・評価、職員間・関係機関や専門職との連携・協働、社会資源の活用観点から具体的に学べるように脱説やグループ討議を行う。また、子育て家庭に対する支援の実態について、様々な場や対象に即した理解を深めるため、事例検討を行う。								グループディスカッション、発表	
授業の到達目標	1 保育者の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援について、その特性と展開を具体的に理解し考察できる。 2 保育者の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解し、自らの実践に繋がるよう説明できる。									
単位認定の要件	到達目標に対し、総合的に評価して合計が60点以上であること。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	保育者の行う子育て支援の特性①子どもの保育とともに行う保護者の支援 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。								
	2	保育者の行う子育て支援の特性②日常的・継続的な関わりを通じた保護者との相互理解と信頼関係の形成、保護者や家庭の抱える支援のニーズへの気づきと多面的な理解 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。								
	3	保育者の行う子育て支援の展開①子ども及び保護者の状況・状態の把握 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。								
	4	保育者の行う子育て支援の展開②支援の計画と環境の構成 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。								
	5	保育者の行う子育て支援の展開③支援の実践・記録・評価・カンファレンス 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。								
	6	保育者の行う子育て支援の展開④職員間の連携・協働 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。								
	7	保育者の行う子育て支援の展開⑤社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。								
	8	保育所、幼稚園、認定こども園における支援①3歳未満児の保護者に対する事例 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。								
	9	保育所、幼稚園、認定こども園における支援②3歳以上児の保護者に対する事例 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。								
	10	地域の子育て家庭に対する支援 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。								
	11	障害のある子ども及びその家庭に対する支援 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。								
	12	特別な配慮を要する子ども及びその家庭に対する支援 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。								
	13	子ども虐待の予防と対応 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。								
	14	要保護児童等の家庭に対する支援とその実際 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。								
	15	多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の理解 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。								
教科書・教材	レジュメ資料を配布する。厚生労働省『保育所保育指針』フレーベル館、文部科学省『幼稚園教育要領』フレーベル館、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館。									
参考書・参考文献等	授業内に適宜紹介する。									
履修上の注意等	子育て家庭の現状に関心をもって授業に臨んでください。ミニ発表、グループ討議と発表、ロールプレイ等も適宜取り入れるので、積極的に授業に参加すること。									
実務経験との関連	実務経験の有無	無								

【2602】 専門教育科目 保育内容の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
健康の指導法			演習	高橋正行	3年	前期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士				
2	15	30		2		○	○		期末試験			
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート	20	無
										授業内小テスト		
										授業内提出物	20	有
										授業内活動	60	有
								その他				
								計	100			
フィードバックの方法												
		≪知識・理解≫ 健康の意義						授業内提出物については評価後、返却する。授業内活動については都度評価をし、賞賛、激励、助言を行う。				
		≪汎用的技能≫ 領域「健康」での実践的指導力										
		≪態度・志向性≫ 教育・保育者として使命感						アクティブラーニングの有無(内容)		有		
授業概要		領域「健康」における教育・保育の有り方をふまえて、子どもの心とからだの発達についての理論を段階的に学ぶことにより、運動遊びの持つ教育的意義をより一層深めることができるように展開する。授業後半に演習活動として行う模擬保育を実践し、子どもの健康維持のための発達に合った運動遊びを指導したり、健康指導をしたりすることを通して教育・保育者としての実践的指導力を身に付けられるよう展開する。								グループワーク、グループディスカッション、模擬授業		
授業の到達目標		1、日常の身体活動や体育的活動が幼児の生活習慣や健康に大きく影響することを関連づけて理解することができる。 2、運動遊びや安全、食育等の指導・支援の展開理論を理解し、実際に展開できるようにする。 3、幼児期の身体活動が将来にわたる健康に大きな影響があることを理解し、他の領域との関連を図りながら主体的に学習に取り組むことができる。										
単位認定の要件		到達目標①～③の合計が60点以上であること。										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容									
		1	授業の概要(目的、計画、履修上の留意事項)について、健康とは何か 予習:(15分)～健康という言葉から幼児のどのような姿を思い浮かべるか、まとめておく。(第1章) 復習:(30分)～テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。									
		2	乳幼児期の運動 予習:(15分)～幼児期から特定の運動を集中的に経験することのメリット、デメリットについてまとめておく。(第3章) 復習:(30分)～テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。									
		3	乳幼児期の遊びと運動 予習:(15分)～幼児期の運動体験を思い出し、楽しかったこと、つまらなかったこと、がんばったことなどをまとめておく。(第5章) 復習:(30分)～テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。									
		4	領域「健康」の理解と指導法 予習:(30分)～「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の何れかに目を通しておく。(第8章) 復習:(15分)～テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。									
		5	指導案の立案の手順理解と保育展開の実践と評価法 予習:(15分)～テキストに目を通しておく。(第10章) 復習:(30分)～テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。									
		6	指導案の作成 予習:(15分)～テキスト第10章に目を通しておく。 復習:(30分)～指導案の作成。テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。									
		7	模擬保育①－保育研究と教材研究及び討議(グループディスカッションと振り返り) 予習:(30分)～対象児の体と心の特徴特性を理解しておく 復習:(15分)～問題点・改善点をまとめる									
		8	模擬保育②－保育研究と教材研究及び討議(グループディスカッションと振り返り) 予習:(30分)～対象児の体と心の特徴特性を理解しておく 復習:(15分)～問題点・改善点をまとめる									
		9	模擬保育③－保育研究と教材研究及び討議(グループディスカッションと振り返り) 予習:(30分)～対象児の体と心の特徴特性を理解しておく 復習:(15分)～問題点・改善点をまとめる									
		10	乳幼児期の安全教育とけがの予防 予習:(15分)～乳幼児のけがや事故の事例(報道等、自分の経験)について調べておく。(第4章) 復習:(30分)～テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。									
		11	乳幼児の生活と食 予習:(15分)～1歳児および5歳児がどのような食事を取っているか、予想する。(第7章) 復習:(30分)～テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。									
		12	「けんこう」指導の立案・教材研究 予習:(15分)～健康領域(運動除く)の中で指導したい内容を考えておく。 復習:(30分)～立案の修正、充実を図る。									
		13	「けんこう」指導の教材研究 予習:(15分)～教材研究を進める。 復習:(30分)～模擬保育に向けた準備を進める。									
		14	模擬保育(「けんこう」指導) 予習:(30分)～模擬保育の準備をしておく。 復習:(15分)～問題点・改善点を振り返る。									
		15	領域「健康」をめぐる現代的問題 予習:(15分)～乳幼児の気になる姿を書き出してみる。(第9章) 復習:(30分)～テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。									
教科書・教材		河邊貴子、吉田伊津美編著 保育内容「健康」 建邦社 2019年										
参考書・参考文献等		「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 日本発達学協会編 幼児期運動指針実践ガイド(杏林書院)										
履修上の注意等		子ども・保育者の両者の視点から心情を理解し、活動に対して意欲的に取り組むこと。実技の際は活動しやすい服装、身だしなみで参加すること。										
実務経験との関連		実務経験の有無	有	小学校教諭として運動指導、保健指導を経験した教員が指導のポイントや留意点等について指導する。								

【2604】 専門教育科目 保育内容の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
環境の指導法			演習	佐藤崇之	3年	前期	こども発達学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無								
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士									
2	15	30		2		○	○		期末試験								
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート	40	有						
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト			
	○	—	○	—	—	○	○	—	—	—	—	○	—	○	授業内提出物	30	有
															授業内活動	30	無
															その他		
															計	100	
															フィードバックの方法		
当該科目のキーワード	《知識・理解》		環境・環境教育の定義と認識、環境教育教材の理解						授業内提出物は次回にて解説を行う。期末レポートは作成資料を推敲するものとする。								
	《汎用的技能》		発表会での質疑応答、指導場面の論理的な展開、指導場面の企画						アクティブラーニングの有無(内容)			有					
	《態度・志向性》		園児・保護者・社会人に向けた情報発信と説得力														
授業概要	子どもの特質や特徴を知り、彼らの置かれている生活環境および彼らに関わらせたい自然環境を理解させ、子どもとの良好なコミュニケーションの取り方を試行したい。その試みを本授業において行う中で、子どもが自ら自然の認識を高めて進歩し発展するための、支援・指導を行う技術を向上させ、環境に対する考え方の幅を広げる。その具体的な実践のあり方を教員と学生とで考察し、実行に移す能力を向上させる。									授業中に教員が問いかけを行い、履修生の意見をふまえて授業を展開することがある。							
授業の到達目標	幼児が、取り巻く自然や人々と良好な関係を築き、さまざまなことを体験・経験していくことが、成長・発達最重要課題ととらえる。そのために、①子どもの成長と原体験や遊びの重要性を認識し、②子どもと環境の相互のはたらきを考察するとともに、③幼児教育における環境に関する教材研究について討論を重ねていくこととする。テーマは、子どもの環境の認識、遊びの新(再)開発、飼育と栽培、新たな行事の体験の提案、その他とする。																
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	環境の定義とその理解、環境を指導で取り扱う意義 予習:(0分) 復習:(10分)「環境」という言葉のさまざまな意味について説明できるようにする。															
	2	環境教育の歴史、現在の自然環境についての認識 予習:(0分) 復習:(20分)自身をとりまく自然環境を、講義内容と照合できるようにする。															
	3	学習の場や地域社会における環境教育 予習:(0分) 復習:(20分)さまざまな学習の場面において行われている環境教育について調べる。															
	4	環境教育教材の体験:野生生物を中心に 予習:(0分) 復習:(20分)野生生物を題材とした環境教育教材について調べる。															
	5	環境教育教材の体験:水環境を中心に(水の循環に着目して) 予習:(0分) 復習:(20分)水環境を題材とした環境教育教材について調べる。															
	6	環境教育教材の体験:水環境を中心に(人と水の関わりに着目して) 予習:(0分) 復習:(20分)さまざまな題材の環境教育教材について調べる。															
	7	発表会の準備:テーマ設定、アイデアの表出、資料の作成 予習:(0分) 復習:(60分)講義で取り扱ったテーマ設定やアイデアを具現化するための題材について調べる。															
	8	季節と環境:秋と冬 予習:(10分)秋と冬の自然環境について想起して、イメージをもつ。 復習:(20分)秋と冬の自然環境について、「環境」領域で利用できそうな題材を調べる。															
	9	発表会の準備:第7回の継続(他の受講生との討論をベースとして) 予習:(10分)自身のテーマやアイデアについて、他者に説明できるようにする。 復習:(90分)今回の討論の内容をもとにして、発表資料を作成する。															
	10	季節と環境:春と夏 予習:(10分)春と夏の自然環境について想起して、イメージをもつ。 復習:(20分)春と夏の自然環境について、「環境」領域で利用できそうな題材を調べる。															
	11	生き物の飼育・栽培に関する子どもの認識 予習:(10分)自身が飼育・栽培した経験があるものを発表できるようにする。 復習:(30分)「環境」領域に適した栽培や飼育についてそれぞれ調べる。															
	12	環境の指導に関する受講生の発表会・討論会:春から夏 予習:(20分)発表者は自身の発表がスムーズに行われるように準備しておく。 復習:(0分)															
	13	環境の指導に関する受講生の発表会・討論会:夏から秋 予習:(20分)発表者は自身の発表がスムーズに行われるように準備しておく。 復習:(0分)															
	14	環境の指導に関する受講生の発表会・討論会:秋から冬 予習:(20分)発表者は自身の発表がスムーズに行われるように準備しておく。 復習:(0分)															
15	まとめ:子どもと環境のあり方を考えた発表資料の推敲 予習:(10分)発表において受け取った他者からのコメントを整理しておく。 復習:(0分)																
教科書・教材	特になし																
参考書・参考文献等	幼稚園教育要領、保育所保育指針。その他、適宜プリントを配付する。																
履修上の注意等	講義形式も交えつつ、演習として体験や発表、意見交換を行いながら授業が展開されます。																
実務経験との関連	実務経験の有無	無															

【2606】 専門教育科目 保育内容の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
表現の指導法A I			演習	諏訪才子	3年	前期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30		1		○	○		期末試験	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末レポート 授業内小テスト 70 有 授業内提出物 授業内活動 30 有 その他 計 100 フィードバックの方法	
	○	○	○	○	—	—	○	○		○
	≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫		子どもの成長・発達、子どもの歌唱・器楽 音楽表現、弾き歌い、アンサンブル・合奏（課題発見・解決） 弾き歌い、アンサンブル・合奏（自律性・協働、多様な音楽文化に対する関心・理解、表現の工夫・創			授業内活動・発表の自己評価、講評及び振り返りレッスンを行う。 アクティブラーニングの有無(内容) 有				
	授業概要 子どもの成長・発達と音楽表現、音楽教育について総合的に理解する。また、これに基づいて、ピアノによる教材の弾き歌い、鍵盤ハーモニカ、簡易な打楽器、リコーダーの基本的な演奏法と、その初歩的指導法を中心に学修する。		グループディスカッション、グループワーク、グループ発表							
授業の到達目標 保育内容の領域「表現」について、音楽的視点から子どもの成長・発達に即して理解することができる。また、1・2年次で修得したピアノや声楽などの基礎的な演奏力と知識を応用し、弾き歌いをはじめ、簡易打楽器や鍵盤ハーモニカなど様々な楽器の知識と奏法を中心に、音楽表現の指導法を音楽教育の広い領域の中で実践的に身につける。										
単位認定の要件		実技試験と授業参加状況・平常練習状況の総合評価が60点以上。								
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容							
		1	保育園・幼稚園・小学校低学年での音楽表現の指導概念 予習:(25分)「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の領域「表現」について下読みする。 復習:(20分)保育園・幼稚園・小学校低学年での音楽表現の内容についてまとめる。							
		2	子どもの発達と音楽的成長 予習:(25分)子どもの発達と音楽的成長について調べる。 復習:(20分)子どもの発達と音楽的成長についてまとめる。							
		3	子どもの歌唱 春の歌弾き歌い(1)歌唱法 予習:(25分)子どもの春の歌を選曲し、歌唱と伴奏練習を行う。 復習:(20分)子どもの春の歌の弾き歌いについて、指摘を受けたポイントに留意して練習する。							
		4	春の歌弾き歌い(2)伴奏法 予習:(25分)子どもの春の歌の弾き歌いの練習を行う。 復習:(20分)演奏発表について振り返り、歌唱・伴奏のポイントに留意して練習する。							
		5	生活の歌弾き歌い(1)歌唱法 予習:(25分)子どもの生活の歌を選曲し、歌唱と伴奏練習を行う。 復習:(20分)子どもの春の歌の弾き歌いについて、指摘を受けたポイントに留意して練習する。							
		6	生活の歌弾き歌い(2)伴奏法 予習:(25分)子どもの生活の歌の弾き歌いの練習を行う。 復習:(20分)演奏発表について振り返り、歌唱・伴奏のポイントに留意して練習する。							
		7	模擬保育(1)指導案作成(目的・内容・進め方・導入・展開・まとめ) 予習:(25分)指導案の中の活動で題材とする子どもの歌を選曲する。 復習:(20分)指導案を作成し、仕上げる。							
		8	模擬保育(2)模擬保育と討議 予習:(25分)指導案に沿って役割分担し、模擬保育の準備をする。 復習:(20分)模擬保育を振り返り、今後の保育指導につなげるための方法を検討する。							
		9	子どもの器楽 簡易な打楽器の特徴と奏法・アンサンブル、初歩的指導法 予習:(25分)簡易な打楽器の種類について調べる。 復習:(20分)簡易な打楽器の奏法と指導法について振り返りをする。							
		10	鍵盤ハーモニカの特徴と奏法・アンサンブル、初歩的指導法 予習:(25分)鍵盤ハーモニカの特徴や手入れの方法について調べる。 復習:(20分)鍵盤ハーモニカの奏法と指導法(特に、タンギングの技能)について振り返りをする。							
		11	リコーダーの特徴と奏法・アンサンブル 予習:(25分)リコーダーの運指を確認する。 復習:(20分)リコーダーの運指を確認し、練習する。							
		12	夏・行事の歌弾き歌い 予習:(25分)子どもの夏・行事の歌を選曲し、弾き歌いの練習を行う。 復習:(20分)弾き歌いの発表を振り返り、指摘を受けたポイントに留意して練習する。							
		13	弾き歌い個人指導(1)歌唱法・伴奏法 予習:(25分)任意の子どもの歌の弾き歌いを練習する。 復習:(20分)歌唱・伴奏の指摘を受けたポイントに留意して練習する。							
		14	弾き歌い個人指導(2)音楽表現 予習:(25分)任意の子どもの歌の弾き歌いを、音楽表現を工夫して練習する。 復習:(20分)音楽表現について指摘を受けたポイントに留意して練習する。							
		15	弾き歌い演奏発表 予習:(25分)任意の子どもの歌の弾き歌いを暗譜し、総合的に仕上げる。 復習:(20分)演奏発表について自己評価し、今後の弾き歌いの課題と練習方法・計画についてまとめる。							
教科書・教材		「新保育者・小学校教員のためのわかりやすい音楽表現入門」石橋裕子・吉津晶子・西海聡子編著(北大路書房)、「こどものうた100」小林美実監修、井戸和秀編(チャイルド本社)								
参考書・参考文献等		「幼稚園教育要領」文部科学省、「保育所保育指針」厚生労働省								
履修上の注意等		ソプラノリコーダー(パロック式)を準備すること。また、購入時は担当教員の指示を得ること。								
実務経験との関連		実務経験の有無	有	中学校等の音楽の授業における歌唱教材の弾き歌いの経験、また、リコーダー等楽器の指導経験を活かして、幼稚園教諭・保育士の必須技能である弾き歌いの歌唱法・伴奏法の指導、楽器の指導を行う。						

【2607】 専門教育科目 保育内容の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科																		
表現の指導法AⅡ			演習	諏訪才子	3年	後期	こども発達学科																		
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無																
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士																	
1	15	30		1		○																			
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末試験																
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート	授業内小テスト	70	有	授業内提出物	授業内活動	30	有	その他	計	100
当該科目の キーワード	《知識・理解》		子どもの歌唱・器楽、子どもの歌創作										授業内活動・発表の自己評価、講評及び振り返りレッスンを行う。												
	《汎用的技能》		音楽表現、弾き歌い、アンサンブル・合奏（課題発見・解決）										アクティブラーニングの有無 (内容)			有									
	《態度・志向性》		弾き歌い、合唱、アンサンブル・合奏、創作（自律性・協働、多様な音楽文化に対する関心・理解、表:																						
授業概要	わらべ歌、遊び歌、子どもの歌の合唱を通して、子どもの歌と歌遊びについて多角的に理解を深める。また、小太鼓・大太鼓、鍵盤打楽器の基本的な演奏法と合奏の初歩的指導法を中心に学修する。さらに、子どもの歌創作やコードネームを活用した和音伴奏による弾き歌いを創造的に体験する。												グループディスカッション、グループワーク、グループ発表												
授業の到達目標	わらべ歌、遊び歌、子どもの歌の合唱を通して、子どもの歌と歌遊びについて多角的に理解することができる。また、小太鼓・大太鼓など様々な楽器の知識と奏法、さらに合奏について、その初歩的指導法を身につける。さらに、子どもの歌創作やコードネームを活用した和音伴奏による弾き歌いを創造的に体験し、音楽表現の指導法を音楽教育の広い領域の中で実践的に身につける。																								
単位認定の要件	実技試験と授業参加状況・平常練習状況の総合評価が60点以上。																								
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																							
	1	わらべ歌・遊び歌 予習:(25分)わらべ歌・遊び歌について調べる。 復習:(20分)わらべ歌・遊び歌を選曲し、練習する。																							
	2	子どもの輪唱・合唱 予習:(25分)子どもの輪唱・合唱曲について調べ、リストアップする。 復習:(10分)子どもの輪唱・合唱曲の既習曲について、歌唱のポイントに留意して練習する。																							
	3	鍵盤打楽器の特徴と奏法、初歩的指導法 予習:(25分)鍵盤打楽器の種類について調べる。 復習:(20分)鍵盤打楽器の奏法と指導法について振り返りをする。																							
	4	鍵盤打楽器 アンサンブルと合奏 予習:(15分)鍵盤打楽器のアンサンブルや合奏曲を鑑賞する。 復習:(0分)																							
	5	小太鼓・大太鼓の特徴と奏法、初歩的指導法 予習:(25分)小太鼓・大太鼓の特徴について調べる。 復習:(20分)小太鼓・大太鼓の奏法と指導法について振り返りをする。																							
	6	小太鼓・大太鼓 アンサンブルと合奏 予習:(15分)小太鼓・大太鼓のアンサンブルや合奏曲を鑑賞する。 復習:(0分)																							
	7	秋の歌弾き歌い 予習:(35分)子どもの秋の歌を選曲し、弾き歌いの練習を行う。 復習:(20分)弾き歌いの発表を振り返り、指摘を受けたポイントに留意して練習する。																							
	8	冬の歌弾き歌い 予習:(35分)子どもの冬の歌を選曲し、弾き歌いの練習を行う。 復習:(20分)弾き歌いの発表を振り返り、指摘を受けたポイントに留意して練習する。																							
	9	子どもの合奏 子どもの歌・マーチ・クリスマスソングモデル 予習:(40分)子どもの歌・マーチ・クリスマスソングなど合奏曲を選曲し、楽器を分担し、グループで練習する。 復習:(0分)																							
	10	子どもの歌創作(1)コードネームによる簡易伴奏付け 予習:(25分)コードネームについて調べる。 復習:(10分)コードネームと唱歌形式について、まとめる。																							
	11	子どもの歌創作(2)コードネームを活用した子どもの歌創作 予習:(35分)コードネームを活用し、子どもの歌を創作する。 復習:(25分)コードネームを活用した子どもの歌を創作し、楽譜を作成・完成させる。																							
	12	子どもの歌創作(3)コードネームを活用した子どもの歌創作発表 予習:(35分)創作した子どもの歌の発表に向け、暗譜し、グループで練習する。 復習:(10分)創作した子どもの歌の発表について振り返り、各自、創作曲の弾き歌いを行う。																							
	13	弾き歌い個人指導(1)歌唱法・伴奏法 予習:(35分)任意の子どもの歌の弾き歌いを練習する。 復習:(20分)歌唱・伴奏の指摘を受けたポイントに留意して練習する。																							
	14	弾き歌い個人指導(2)音楽表現 予習:(35分)任意の子どもの歌の弾き歌いを、音楽表現を工夫して練習する。 復習:(20分)音楽表現について指摘を受けたポイントに留意して練習する。																							
	15	弾き歌い演奏発表 予習:(40分)任意の子どもの歌の弾き歌いを暗譜し、総合的に仕上げる。 復習:(20分)演奏発表について自己評価し、今後の弾き歌いの課題と練習方法・計画についてまとめる。																							
教科書・教材	「新保育者・小学校教員のためのわかりやすい音楽表現入門」石橋裕子・吉津晶子・西海聡子編著(北大路書房)、「こどものうた100」小林美実監修、井戸和秀編(チャイルド本社)																								
参考書・参考文献等	「幼稚園教育要領」文部科学省、「保育所保育指針」厚生労働省																								
履修上の注意等	ソプラノリコーダー(パロック式)は、毎回用意すること。																								
実務経験との関連	実務経験の有無	有	中学校等の音楽の授業における歌唱教材の弾き歌いの経験、また、リコーダー等楽器の指導経験を活かして、幼稚園教諭・保育士の必須技能である弾き歌いの歌唱法・伴奏法の指導、楽器の指導を行う。																						

【2608】 専門教育科目 保育内容の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
表現の指導法B I			演習	工藤千華	3年	前期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30		1			○	□	期末試験	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、自ら課題へ適用し、その課題を解決する能力》 期末レポート 授業内小テスト 10 有 授業内提出物 50 有 授業内活動 40 有 その他 計 100 フィードバックの方法	
	○	—	—	○	—	—	—	○		
	≪知識・理解≫ 造形的な理解と支援のあり方		≪汎用的技能≫ 非言語によるコミュニケーション能力			≪態度・志向性≫ 造形表現を通じたチームワーク				技術面の指導
	≪知識・理解≫ 造形的な理解と支援のあり方		≪汎用的技能≫ 非言語によるコミュニケーション能力			≪態度・志向性≫ 造形表現を通じたチームワーク				アクティブラーニングの有無(内容) 有
授業概要	幼児の造形活動の理解や支援に必要な表現能力、発達段階や表現形式など基礎的知識を解説する。幼児期の造形表現の年齢的展開を具体例を用いて説明し、発達に応じた援助の在り方を示す。								体験学習・グループでの作業活動	
授業の到達目標	造形表現の楽しさを実習を通して体感し、獲得した知識・技術・態度等を総合的に活用し、自ら立てた新たな課題に向けて解決する能力を習得する。保育者として自ら表現する楽しさを感じ、子どもの造形活動の支援へつなげることができる。子どもの発達段階に応じた指導計画を立案し、適切な援助や環境構成を行う基礎的な指導力を身につける。									
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	幼稚園教育要領・保育所保育指針における「表現」領域及び小学校の連携(「図画工作」)の学習指導要領 予習:(分)15 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。								
	2	造形活動の基礎。造形の理解と支援に必要な描画材料等の説明と概要。幼稚園教育要領と保育所保育指針から 予習:(分)15 復習:(分)30 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。								
	3	①身近な素材による教材研究 紙の変身「平面と立体」 予習:(分)15 復習:(分)30 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。								
	4	①身近な素材による教材研究 廃材を使って「おもちゃ作り」 予習:(分)15 復習:(分)30 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。								
	5	①身近な素材による教材研究 廃材を使って「おもちゃ作り」 予習:(分)15 復習:(分)30 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。								
	6	①身近な素材による教材研究 紙版画 予習:(分)15 復習:(分)30 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。								
	7	①身近な素材による教材研究 スチレン版画 予習:(分)15 復習:(分)30 製作に必要なアイデアをまとめて必要な材料を集める。								
	8	①身近な素材による教材研究 スチレン版画、共同制作 予習:(分)15 復習:(分)30 製作に必要なアイデアをまとめて必要な材料を集める。								
	9	①身近な素材による教材研究 スチレン版画、共同制作 完成 予習:(分)15 復習:(分)30 製作に必要なアイデアをまとめて必要な材料を集める。								
	10	発表と鑑賞会 絵の世界「子どもの絵を「見る」とは?」「思いを伝える見せ方」を考える。 予習:(分)15 復習:(分)30 グループ内で発表内容をまとめておく。								
	11	②実践的な指導法の学習 指導案作成 予習:(分)15 復習:(分)30 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。								
	12	②実践的な指導法の学習 グループでの指導案作成 予習:(分)15 復習:(分)30 必要なアイデアをまとめておく。								
	13	②実践的な指導法の学習 指導案を考えるための教材研究 予習:(分)15 復習:(分)30 必要なアイデアをまとめておく。								
	14	各グループプレゼンテーション・共有 予習:(分)15 復習:(分)30 必要な材料を集める。								
15	各グループプレゼンテーション・共有 予習:(分)15 復習:(分)30 必要な材料を集める。									
教科書・教材	『幼稚園教育要領』文部科学省・『保育所保育指針』厚生労働省									
参考書・参考文献等	「表現指導法感性を育て、表現の世界を拓く」萌文書林・「子どもの活動が広がる・深まる保育内容『表現』」中央法規								必要に応じて随時資料を配布する。	
履修上の注意等	衣服が汚れる場合もあります、トレーニングウェア、エプロン着用での受講可									
実務経験との関連	実務経験の有無	有	保育士として私立保育園に勤務、保育所における造形指導の実務を行う。実務経験をもとに造形に関する知識や技能等を指導する。							

【2609】 専門教育科目 保育内容の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科		
表現の指導法BⅡ			演習	工藤千華	3年	後期	こども発達学科		
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択	小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30		1		○		期末試験	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 授業内活動 その他
	○	—	○	○	—	—	—	計 100	
	フィードバックの方法								
	○	—	○	○	—	—	—	—	
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 造形的な理解と支援のあり方		≪汎用的技能≫ 非言語によるコミュニケーション能力			≪態度・志向性≫ 造形表現を通じたチームワーク			制作時間の確保・技術面の指導 アクティブラーニングの有無(内容) 有
	授業概要 子どもの表現活動を支える援助者として学生自身が表現力を向上させるとともに、子どもたちに表現することのすばらしさを伝える指導力の育成を目指す。ファッションショーや壁面製作を通して、素材の特性を生かした造形表現の方法を指導する。また、グループによる活動を通して、協働による表現活動の進め方や指導上の留意点について解説する。								体験学習・グループでの作業活動
	授業の到達目標 造形表現の楽しさを体験を通して体感し、自ら創造活動に積極的に取り組むことができる。獲得した知識・技術・態度等を活用し共同で立てた企画(コンセプト)に基づいて協働しながら課題を解決することができる。教材研究に対して主体的・計画的に取り組むことができる。								
単位認定の要件		到達目標①～③の合計が60点以上であること。							
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容							
	1	子どもにとっての表現とは 大人の表現とどう違うのか 予習:(分)15 幼稚園教育要領の「表現」を熟読しておく。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。							
	2	①身近な素材による教材研究「ビニールファッションショー」デザインの構想 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。							
	3	①身近な素材による教材研究「ビニールファッションショー」衣装の制作 予習:(分)15 製作のアイデアをまとめ必要な材料を集める。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。							
	4	①身近な素材による教材研究「ビニールファッションショー」リハーサル、振り付け 予習:(分)15 製作のアイデアをまとめ必要な材料を集める。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。							
	5	①身近な素材による教材研究「ビニールファッションショー」発表会とまとめ 予習:(分)15 製作のアイデアをまとめ必要な材料を集める。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。							
	6	②自然素材による教材研究「葉や枝などを活かして」 予習:(分)15 製作のアイデアをまとめておく。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。							
	7	②教材研究 折り紙、染紙を使って 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。							
	8	③教材研究「壁面製作」折り紙、染紙を使って 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。							
	9	③教材研究「壁面製作」グループワーク 予習:(分)15 製作のアイデアをまとめ必要な材料を集める。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。							
	10	③教材研究「壁面製作」グループワーク 予習:(分)15 製作のアイデアをまとめ必要な材料を集める。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。							
	11	④教材研究「共同オブジェ」グループワーク 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。							
	12	④教材研究「共同オブジェ」グループワーク 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。							
	13	④教材研究「共同オブジェ」グループワーク 予習:(分)15 製作のアイデアをまとめ必要な材料を集める。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。							
	14	④教材研究「共同オブジェ」グループワーク 予習:(分)15 製作のアイデアをまとめ必要な材料を集める。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。							
	15	④教材研究「共同オブジェ」発表 予習:(分)15 製作のアイデアをまとめ必要な材料を集める。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。							
教科書・教材		『幼稚園教育要領』文部科学省・『保育所保育指針』厚生労働省							
参考書・参考文献等		「実践こころふれあう子どもと表現」みらい・「表現指導法感性を育て、表現の世界を拓く」萌文書林・「子どもの活動が広がる・深まる保育内容『表現』」中央法規							
履修上の注意等		衣服が汚れる場合もあります、トレーニングウェア、エプロン着用での受講可							
実務経験との関連		実務経験の有無	有	保育士として私立保育園に勤務、保育所における造形指導の実務を行う。実務経験をもとに造形に関する知識や技能等を指導する。					

【2702】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科					
教育行政			講義		長尾悠里		3年	前期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無				
2	15	30	必修		選択		小学校	幼稚園	保育士					
					2	○	○							
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》		
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
	○	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
当該科目の キーワード	《知識・理解》		教育制度、教育改革									期末試験 期末レポート 40 有 授業内小テスト 授業内提出物 60 無 授業内活動 その他 計 100 フィードバックの方法		
	《汎用的技能》		教育改革のメリット・デメリット											
	《態度・志向性》													
授業概要	この授業では、主に、(1)教育・公教育の理念や、教育法規、教育行政・学校経営といった教育制度に関する基本的な知識・仕組みの概要と、(2)教育課程・学習指導要領や学校病理、教員の職務、教育財政、入試、学校安全などに関する各教育制度の内容や最新の改革動向という2点について学ぶことを通して、現代社会における教育制度のあり方や課題について理解・考察を深めることを目指す。													
授業の 到達目標	(1)教育制度に関する基本的な知識や仕組みの概要が理解できるようになること。 (2)現代社会における教育制度に関する問題について、多角的・俯瞰的に理解できるようになること。 (3)昨今の教育制度改革の方向性や今後の教育制度のあるべき姿について、考察・表現できるようになること。													
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。													
授業計画 (予習、復習の内容 ・時間含む)	回	内 容												
	1	授業のガイダンス 予習:(分) 復習:(分)												
	2	教育制度の理念と歴史 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(分)												
	3	日本の教育制度①(日本の教育を支える法規) 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)												
	4	日本の教育制度②(日本と諸外国の学校体系) 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)												
	5	日本の教育制度③(日本型受験システム) 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)												
	6	子どもと教育制度①(「子どもの権利」という発想) 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)												
	7	子どもと教育制度②(不登校と教育制度) 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)												
	8	子どもと教育制度③(子どもの貧困と教育制度) 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)												
	9	多様な学びを支える教育制度 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)												
	10	教師と教育制度①(法規の中の教員) 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)												
	11	教師と教育制度②(教育実践と教育制度) 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)												
	12	学校安全と教育制度 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)												
	13	教育委員会制度 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)												
	14	学校参加をめぐる制度 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)												
	15	授業のまとめ・最終レポートに関する説明 予習:(分) 復習:(分)												
教科書・教材	授業中に資料を配布する。													
参考書・ 参考文献等	各回の授業内で随時紹介する。													
履修上の 注意等	特になし													
実務経験との 関連	実務経験 の有無	無												

【2705】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科							
総合的な学習の時間の指導法			講義		高橋正行		3年	前期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無						
			必修		選択		小学校	幼稚園	保育士							
2	15	30			2		○									
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的 理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーション スキル 数量的 スキル 情報リテラシー 論理的 思考力 問題 解決力			≪態度・志向性≫ 自己 管理力 チーム ワーク リーダー シップ 倫理 観 社会的 責任 生涯 学習 力					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末試験		
			○	-	-	○	-	-	○	○	-	-		-	-	○
当該科目の キーワード			≪知識・理解≫ 探究的な見方・考え方													
			≪汎用的技能≫ 探究的な学習の過程と思考方法(比較・分類・関連等)の技法													
			≪態度・志向性≫ 見通しと振り返り													
授業概要			学習指導要領解説に記載されている目標や内容について解説する。特に総合的な学習の時間における「探究的な見方・考え方」を理解するために、実践事例を紹介しながら、他教科等との横断的視点に立った指導方法や評価について解説する。また、実践力を高めるためにグループワークにより年間指導計画や単元計画を作成する活動を取り入れる。									グループディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション				
授業の 到達目標			①学習指導要領における目標・内容を理解する。 ②実践例を通してカリキュラム・マネジメントの視点に立った教材化や授業方法を理解する。 ③教科横断的な学習に留意しながら、指導計画や単元計画を作成することができる。 ④探究的な学習における学習指導について理解する。													
単位認定の要件			到達目標①～④の合計が60点以上であること。													
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容												
			1	オリエンテーション(授業計画、授業概要など) 予習:(30分) シラバスを熟読する。 復習:(150分) テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。												
			2	総合的な学習の時間について(総説) 予習:(90分) テキスト第1章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。												
			3	総合的な学習の時間の目標と内容 予習:(90分) テキスト第2章、第3章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。												
			4	総合的な学習の時間の学習指導①(探究的な学び) 予習:(90分) テキスト第7章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。												
			5	総合的な学習の時間の学習指導②(体験活動と言語活動) 予習:(90分) テキスト第7章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。												
			6	総合的な学習の時間の学習指導③(カリキュラムマネジメント、学校行事) 予習:(90分) テキスト第7章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。												
			7	総合的な学習の時間の学習指導④(カリキュラムマネジメント、道徳) 予習:(90分) テキスト第7章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。												
			8	総合的な学習の時間の学習指導⑤(思考ツールの活用) 予習:(90分) テキスト第5章第3節に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。												
			9	総合的な学習の時間の指導計画の作成 予習:(90分) テキスト第4章、第5章、第6章1に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。												
			10	グループによる探究活動① 予習:(90分) テキスト第10章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。												
			11	グループによる探究活動② 予習:(90分) テキスト第10章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。												
			12	グループによる探究活動③ 予習:(90分) テキスト第10章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。												
			13	グループの発表① 予習:(90分) 適宜配付した講義資料やノートに目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) 配付した講義資料等をもとに講義内容を復習する。												
			14	グループの発表② 予習:(90分) 適宜配付した講義資料やノートに目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) 配付した講義資料等をもとに講義内容を復習する。												
			15	「総合的な学習の時間」の指導と評価、これからの「総合的な学習の時間」の指導 予習:(90分) テキスト第8章、第9章に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) テキストやノート等をもとに講義内容を復習する。												
教科書・教材			中国ほか編者 総合的な学習・探究の時間の指導 第2版 学術研究出版 小学校学習指導要領解説(総合的な学習の時間編)													
参考書・ 参考文献等			「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校編 総合的な学習の時間) 国立教育政策研究所教育課程研究センター 今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(小学校編) 文部科学省													
履修上の 注意等			児童・生徒の視点、教師としての視点から「総合的な学習の時間」の指導について考えていきます。両者の立場を往還しながら授業に臨んでください。													
実務経験との 関連			実務経験の有無	有	小学校教諭として指導経験のある教員が、その経験を活かして教材研究、授業展開、児童理解の仕方などについて具体的な授業場面をもとに指導する。											

【2706】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科							
特別活動の指導法			講義		齋藤昭		3年	後期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無						
			必修		選択		小学校	幼稚園	保育士							
2	15	30			2		○									
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的 理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーション スキル 数量的 スキル 情報リテラシー 論理的 思考力 問題 解決力				≪態度・志向性≫ 自己 管理力 チーム ワーク リーダー シップ 倫理 観 社会的 責任 生涯 学習 力				《獲得した能力 を総合的に 利用し、自ら 設定し、その 課題へ適 用し、その 課題を解決 する能力》	期末レポート	40	有
			授業内小テスト	20	有	授業内提出物	40	無	その他							
										計	100					
フィードバックの方法																
当該科目の キーワード			≪知識・理解≫ 学習指導要領の理解・生徒指導・学級経営との関連										期末レポート、授業内提出物につ いては、コメントを記入し返却する。 質問については、講義の中で解説 していく。			
			≪汎用的技能≫ 指導案構築の思考力・各活動の問題解決力											アクティブラーニングの有無 (内容)	有	
			≪態度・志向性≫ 学びに向かう姿勢													
授業概要			特別活動は「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせながら、様々な課題や集団活動に自主的・実践的に取り組み、集団や自己の生活上の課題を解決する活動である。このことを踏まえ、学習指導要領で示されている育成する資質・能力について「人間関係形成・社会参画・自己実現」を解説していく。また、学級活動については模擬授業を通して、実践力を身に付けさせていく。									グループディスカッション、グループ ワーク				
授業の 到達目標			①特別活動(学級・児童・生徒会・クラブ(小学校)・学校行事)の各活動の内容を理解し、指導方法について理解する。 ②特別活動と教科・道徳・総合的な学習の時間との関連を理解する。 ③学級活動を実践するための基本的な指導案の構成を理解し、模擬授業を通して授業展開の方法について理解する。 ④特別活動と学級経営・生徒指導との関連について、人間関係の視点から理解する。													
単位認定の要件			到達目標①～④の合計が60点以上であること。													
授業計画 (予習、復習の内容 ・時間含む)			回	内 容												
			1	特別活動の目標と内容 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			2	特別活動の教育的意義と特質 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			3	特別活動と教科・領域・生徒指導との関連 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			4	特別活動と学級経営 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			5	特別活動の全体計画と学級活動の年間指導の作成 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			6	学級活動(1)の内容と指導法1(模擬授業の準備) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			7	学級活動(1)の内容と指導法2(模擬授業を通して指導法を考えていく) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			8	学級活動(1)の内容と指導法3(模擬授業を通して指導法を考えていく) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			9	学級活動(2)の内容と指導法(模擬授業を通して指導法を考えていく) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			10	学級活動(3)の内容と指導法(模擬授業を通して指導法を考えていく) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			11	学級活動(2)・(3)の内容と指導法(模擬授業を振り返り指導法を考えていく) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			12	児童会・生徒会活動の内容と指導法 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			13	クラブ活動・学校行事の内容と指導法 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			14	特別活動における指導と評価の一体化 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			15	これからの特別活動 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
教科書・教材			小学校学習指導要領解説(特別活動編)													
参考書・ 参考文献等			・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校 特別活動) 国立教育政策研究所教育課程研究センター ・特別活動指導資料 みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動 小学校編 文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター													
履修上の 注意等			自分が教員になったらどのような指導をしていくのかを考えながら講義に参加してください。講義資料は事前にGoogleクラスルームに掲載するので、目を通して疑問点や自分の考えをまとめてから講義に臨んでください。													
実務経験との 関連			実務経験の有無	有	小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、特別活動の目的、内容についての理解を深めるとともに、学級活動の模擬授業を通して、具体的な指導方法について考えていく。											

【2708】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科													
生徒・進路指導			講義	齋藤昭	3年	後期	こども発達学科													
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無											
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士												
2	15	30		2	○				期末試験											
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート	50	有									
	基礎知識の体系的 理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーション スキル	数量的 スキル	情報リテラシ ー	論理的 思考力	問題 解決力	自己 管理能力	チーム ワーク	リーダー シップ	倫理 観	社会 的責任	生涯 学習力	《獲得した能力を 総合的に利用し、 自ら設定し、適 用し、その課題を解決 する能力》	授業内小テスト					
	○	—	○	—	—	○	○	—	○	—	○	○	—	○	○	—	○	授業内提出物	20	有
																		授業内活動	30	無
																		その他		
																		計	100	
																		フィードバックの方法		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		生きる力、自己肯定感、生徒指導の三機能									期末レポート、授業内提出物につ いては、コメントを記入し返却する。 質問については、講義の中で解説 していく。								
	《汎用的技能》		児童生徒理解																	
	《態度・志向性》		チーム学校									アクティブラーニングの有無 (内容)	有							
授業概要	児童生徒理解なくして、あらゆる教育活動は成立しない。児童生徒理解の基本をふまえて生徒指導の基礎・基本について解説する。具 体的な問題や課題をとらえて、成長と発達、教育環境、集団と個などの観点から指導のあり方を考えさせていく。										グループディスカッション、グルー プワーク									
授業の 到達目標	①生徒指導とキャリア教育の意義と方法について理解を深める。 ②児童生徒が抱える諸課題について、成長と発達、教育環境との関連から具体的な対処の方法を理解する。 ③生徒指導とキャリア教育を行う際に、教師として留意すべき事項を理解する。																			
単位認定の要件	到達目標の①～③の達成が60%以上																			
授業計画 (予習、復習の内 容・時間含む)	回	内 容																		
	1	生徒指導の理念 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																		
	2	現代の子どもを取り巻く課題 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																		
	3	教育活動における生徒指導 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																		
	4	キャリア教育・進路指導 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																		
	5	児童生徒理解の方法 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																		
	6	教育相談とカウンセリング 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																		
	7	いじめの理解と対応 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																		
	8	不登校の理解と対応 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																		
	9	非行の理解と対応 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																		
	10	学級崩壊・授業崩壊の理解と対応 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																		
	11	構成的グループエンカウンター技法 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																		
	12	ソーシャルスキルトレーニングの技法 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																		
	13	家庭・地域・関係機関との連携 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																		
	14	生徒指導と法制度 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																		
15	これからの生徒指導 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																			
教科書・教材	『生徒指導提要(令和4年12月版)』(文部科学省)																			
参考書・ 参考文献等	特になし																			
履修上 の注意等	自分だったらどう指導するかを常に考えながら講義に臨んでください。また、講義資料は事前にGoogleクラスルームに掲載するので、目を通して疑問点や自分の考えをま とめてから講義に臨んでください。																			
実務経験との 関連	実務経験 の有無	有	小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、児童理解の仕方、問題行動への指導の仕方などについて、具体的な場面をもとに考え ていく講義にしていきたい。																	

【2709】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
子どもの理解と援助			演習	新田史暁	3年	前期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士								
2	15	30		2			○	○	期末試験							
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート	60	無					
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	○	○	—	○	—	—	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—
当該科目の キーワード	《知識・理解》		発達援助に関わる理論の理解						授業内提出物に対して、次回の授業内でフィードバックする。							
	《汎用的技能》		保育者からの働きかけや支援方法の検討						アクティブラーニングの有無 (内容)			有				
	《態度・志向性》		保育士とのチームワーク													
授業概要	発達心理学に関する基礎的理論・知識を踏まえ、幼児の発達援助のため必要な理論や、園で実際生じている諸問題の背景について理解する。また、様々な事例に触れながら幼児の発達に必要な幼稚園教諭の具体的な対応および支援、他機関との共同・連携について考え、幼児の発達に関する基礎的知識を実践に応用していく力を習得することを目標とする。									グループディスカッション、グループワーク						
授業の到達目標	発達心理学に関する基礎的理論・知識を実践に応用させる力の習得を目標とし、 ①幼児の発達における家庭や園の役割を理解できる。 ②発達援助に関わる理論を理解できる。 ③幼児の発達に必要な幼稚園教諭の具体的な対応および支援について考えることができる。															
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	幼児理解の意義 予習:(15分)子どもを理解し援助する方法について調べる。 復習:(30分)他者と協同するために必要なコミュニケーションスキル、自分の課題について明確にする。														
	2	子どもにとっての遊びの意義 予習:(15分)遊びの機能(身体・運動機能、社会性の発達、知的機能の発達、自我の発達、治療的価値)について確認する。 復習:(30分)年齢に伴う遊びの発達と意味について理解を深める。														
	3	子どもの遊びと自発性(動機づけ理論) 予習:(15分)内発的動機づけと外発的動機づけとはなにに調べる。 復習:(30分)自己決定理論とはなにか、自己決定理論を活かした子どもへのかかわりについて理解を深める。														
	4	子どもへのことばがけ(保育者からの影響) 予習:(15分)内発的動機付けを高める方法について調べる。 復習:(30分)内発的動機付けを高める言葉がけとは、ほめ方と子どもの行動の関係について理解を深める。														
	5	子どもの葛藤といざこざ(子どものけんかへの対応) 予習:(15分)葛藤の種類、いざこざの意味、保育者の対応について調べる。 復習:(30分)未満児・以上児のけんかの特徴と保育者の対応について理解を深める。														
	6	子ども理解と評価(観察・記録の意義と方法) 予習:(15分)観察法にはどのようなものがあるか調べる。 復習:(30分)行動観察のポイント、記録の仕方、観察記録の分析について理解を深める。														
	7	子ども理解と評価(発達アセスメント) 予習:(15分)乳幼児の発達を確かめるための健診にはどのようなものがあるか調べる。 復習:(30分)発達検査の種類・特徴と支援の方法について理解を深める。														
	8	子どもの社会情動的発達 予習:(15分)乳幼児の社会情動的発達の経過について調べる。 復習:(30分)乳幼児の情動発達を踏まえた関わり方について理解を深める。														
	9	個々の発達を支えるためのデザイン(発達を阻害するバリアの体験と理解) 予習:(15分)自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、眼局性学習症の特徴を確認する。 復習:(30分)発達特性を抱える子どもにとってのデザインバリアとユニバーサルデザインの考え方について理解を深める。														
	10	気になる子の理解と援助①(支援のポイントを理解する) 予習:(15分)園で見られる発達特性のある子どもの特徴について調べる。 復習:(30分)子どもの発達特性に応じた言葉がけ、環境構成の工夫について理解を深める。														
	11	気になる子の理解と援助②(アセスメントと具体的な対応を考える) 予習:(15分)行動分析について調べる。 復習:(30分)子どもをアセスメントする手段とそれに基づいた対応と支援について理解を深める。														
	12	保護者とのつながり 予習:(15分)親が障害の子どもを育てる心理について調べる。 復習:(30分)親が障害を受容するプロセス、専門機関へのつなぎ方について理解を深める。														
	13	子どものトラウマ(トラウマ症状の理解) 予習:(15分)急性ストレス障害と心的外傷後ストレス障害とはなにに調べる。 復習:(30分)トラウマを抱えた子どもに対するプレイセラピーの効果、俳句の療育効果について理解を深める。														
	14	子どものトラウマ症状と心理的な応急処置 予習:(15分)年齢別のトラウマ症状とその対応について調べる。 復習:(30分)子どもに対応する際に大人が留意するポイント、実際の災害による子どもへの影響と回復過程について理解を深める。														
	15	発達援助における協働について考える 予習:(15分)これまでの授業内容を振り返る。 復習:(30分)自分自身のコミュニケーション能力の変化と今後の課題について明確にする。														
教科書・教材	適宜配布資料を用意する。															
参考書・参考文献等	福沢周亮(監修)「保育の心理学—子どもの心身の発達と教育実践—」(教育出版)															
履修上の注意等	グループディスカッションに積極的に取り組み、各回のコメントペーパーおよび期末レポートを提出すること。															
実務経験との関連	実務経験の有無	有	学校や心理相談室でカウンセラーを勤めた経験から、子どもを心理学的に理解し援助する方法について講義する。													

【2710】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
教育相談			講義	新田史暁	3年	前期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無					
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士						
2	15	30		2		○	○	□	期末試験					
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的 理解		≪汎用的技能≫ コミュニケーション スキル 数量的 スキル 情報リテラシ ー 論理的 思考力 問題 解決力			≪態度・志向性≫ 自己 管理力 チーム ワーク リー ダー シップ 倫理 観 社会的 責任 生涯 学習 力			《獲得した能力 を総合的に 利用し、 自ら設定し 自ら課題へ適 用し、その 課題を解決 する能力》	期末レポート	60	無		
	○	○	—	○	—	—	—	○		○	—	—	—	—
	○	○	—	○	—	—	—	—		—	—	—	—	—
当該科目の キーワード	≪知識・理解≫		児童生徒理解と共感的指導						授業内提出物に対して、次回の授 業内でフィードバックする。	授業内小テスト				
	≪汎用的技能≫		構成的グループエンカウンター							授業内提出物	40	有		
	≪態度・志向性≫		カウンセリング技法、予防的対応、自己開示							授業内活動				
授業概要	教育相談の意味や意義について理解した上で、学校現場で生じる諸問題、児童理解のための技術、カウンセリングの諸理論や予防的 対応について学んでいく。また、構成的グループエンカウンター、ソーシャルスキルトレーニング、アサーショントレーニングなどの演習を 取り上げながら、「心を開放できる学級集団作り」のための基礎的な手法を学習する。									その他				
授業の 到達目標	①教育相談の意味や意義について理解できる。 ②児童理解、カウンセリング、予防的対応に必要な基本的事項を理解できる。 ③学級集団作りの具体的手法を身につける。									計	100			
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。									フィードバックの方法				
授業計画 (予習、復習の内 容・時間含む)	回	内 容												
	1	教育相談の意義と意味 予習:(90分) 教育相談とはなにかを調べる。 復習:(90分) 問題を解決する教育相談、問題を未然に防ぐ教育相談、心の危機サインにはどのようなものがあるか理解を深める。												
	2	児童理解①性格検査 予習:(90分) 性格理論にはどのようなものがあるかを調べる。 復習:(90分) 性格理論および性格検査に基づく個人の理解における留意点について考える。												
	3	児童理解②知能検査、神経心理学的検査 予習:(90分) 知能検査とはなにかを理解する。 復習:(90分) 知能検査に基づく知的機能の解釈とその際の留意点について理解を深める。												
	4	カウンセリングの基礎理論(マイクロカウンセリング、クライアント中心療法) 予習:(90分) クライアント中心療法とはなにかを調べる。 復習:(90分) クライアント中心療法における考え方やセラピストの基本的態度、基本的傾聴技法を理解する。												
	5	カウンセリングの基礎理論の実践(マイクロカウンセリング、クライアント中心療法) 予習:(90分) クライアント中心療法の特徴について理解しておく。 復習:(90分) 相談場面における話の聞き方について言語・非言語それぞれの自分の課題を明確にする。												
	6	カウンセリングの諸理論(精神分析) 予習:(90分) 精神分析の特徴と治療メカニズムについて調べる。 復習:(90分) 精神分析の局所論と構造論、防衛機制を理解する。自分自身の悩みについて精神分析の観点から考えてみる。												
	7	カウンセリングの諸理論(行動療法) 予習:(90分) 行動療法の特徴と治療メカニズム、行動療法に基づく諸技法について調べる。 復習:(90分) 行動療法の考え方、実践法を理解する。自分の悩みを行動療法を用いて解決してみる。												
	8	カウンセリングの諸理論(認知行動療法) 予習:(90分) 認知行動療法の特徴と治療メカニズムについて調べる。 復習:(90分) 不合理な信念と合理的な信念、認知のゆがみと認知再構成法を理解する。自分の悩みについて認知再構成法を用いて解決してみる。												
	9	カウンセリングの諸理論(短期療法)の基礎 予習:(90分) 短期療法の特徴と治療メカニズムについて調べる。 復習:(90分) システム理論と人間コミュニケーションの語用論を理解する。												
	10	カウンセリングの諸理論(短期療法の実践) 予習:(90分) リンクセッションフォーカストアプローチとMRIアプローチについて理解を深める。 復習:(90分) 自分の悩みについて短期療法を用いて解決してみる。												
	11	学級づくりの手法 予習:(90分) 学級崩壊が生じる背景と要因を調べる。 復習:(90分) 自分がどのような学級づくりをしていきたいか授業をもとに具体的に考える。												
	12	いじめ(概論) 予習:(90分) これまでのいじめ事件にはどのようなものがあるのか、対策として何が行われているのか調べる。 復習:(90分) いじめ防止対策推進法のポイント、いじめ集団の4層構造の特徴を理解する。												
	13	いじめ(対応) 予習:(90分) いじめの解決方法や対応についてニュースや論文をもとに調べる。 復習:(90分) 聞き取りの内容、記録、加害者・被害者・保護者への対応を理解する												
	14	不登校(概論) 予習:(90分) 不登校に関する最近のニュースや記事を調べ、現状について把握する。 復習:(90分) 普通教育機会確保法のポイントと不登校児童生徒への対応を理解する												
	15	不登校(対応) 予習:(90分) 不登校児童生徒への支援に関するニュースや論文より具体的な援助方法を調べる。 復習:(90分) 不登校児童生徒への支援における職員と保護者の連携の方法を理解する												
教科書・教材	適宜配布資料を用意する。													
参考書・ 参考文献等	西本錦子「教師のための教育相談」(萌文書林) 森田健宏・吉田佐治子「よくわかる! 教職エクササイズ 教育相談」(ミネルヴァ書房)													
履修上の 注意等	グループディスカッションに積極的に取り組み、各回のコメントペーパーおよび期末レポートを提出すること。													
実務経験との 関連	実務経験 の有無	有	学校や心理相談室でカウンセラーを勤めた経験から、学校現場で生じる児童・生徒の問題や臨床心理学的援助方法について講義する。											

【2716】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科				
事前事後指導(幼)			演習		吉田裕美子		3年	前期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修		選択		小学校	幼稚園	保育士				
1	15	30			1		小学校	幼稚園	保育士				
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的 理解		≪汎用的技能≫ コミュニケーション スキル 数量的 スキル 情報リテラシ ー 論理的 思考力 問題 解決力			≪態度・志向性≫ 自己 管理力 チーム ワーク リー ダー シップ 倫理 観 社会 的 責任 生涯 学 習 力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末試験 期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 40 有 授業内活動 40 有 その他 20 有 計 100 フィードバックの方法		
			○ ○ ○ ○		— ○ ○ ○ ○			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○					
当該科目の キーワード			≪知識・理解≫		実習の意義			提出物は評価後に返却する アクティブラーニングの有無 (内容) 有					
			≪汎用的技能≫		幼児への関わり方								
			≪態度・志向性≫		職員との協働								
授業概要			実習はこれまで学んだ知識や技術を実際の現場で先輩の先生方からの指導を受けながら、具体的な内容を内在するところに意義がある。指導内容は専門的事項から一般的なものまで多岐にわたるが、実習に対しての心構えや実習中の課題意識、事後の課題の明確化まで総合的にとらえ、その結果を将来的資質向上にも役立てていく。										
授業の 到達目標			1. 実習を円滑に進めていくための知識・技術を習得し、課題を明確にすることにより内容を深める。 2. 実習の意義・課題、指導計画の立案、教材研究、保育者の役割を知る。										
単位認定の要件			到達目標1と2の合計60点以上であること。										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容									
			1	実習総合オリエンテーション (幼稚園教諭課程委員会教員 吉田 裕美子) 予習:(30分) 認定会議の結果、教育実習の意義や目的 復習:(15分) 実習生としての心構え、意識を確認									
			2	実習希望調査、内諒の取り方 (幼稚園教諭課程委員会 吉田 裕美子) 予習:(30分) 各園の概要を知る 復習:(15分) 幼稚園の実際に触れる									
			3	保育実技① 音楽遊び (幼稚園教諭課程委員会教員 一戸 智之) 予習:(30分) 演奏したい弾き歌い曲をリストアップする 復習:(15分) 選曲した曲の弾き歌いを練習する									
			4	保育実技② 音楽遊び (幼稚園教諭課程委員会教員 一戸 智之) 予習:(30分) 選曲した弾き歌い曲を完成させる 復習:(15分) 発表を振り返り、改善点を中心に練習する									
			5	実習先への事務手続き、調査書作成 (幼稚園教諭課程委員会教員 吉田 裕美子) 予習:(30分) 各園の概要について知り、実習関係書類の作成する 復習:(15分) 記入漏れがないか確認する									
			6	観察・参加実習(附属幼)の心得 (幼稚園教諭課程委員会教員 吉田 裕美子) 予習:(30分) 柴田幼稚園観察実習について 復習:(15分) 配属クラス発表、各年齢の発達について学ぶ									
			7	保育実技③ 絵本、紙芝居の選び方・語り聞かせ (幼稚園教諭課程委員会教員 吉田 裕美子他) 予習:(30分) 児童文化財についての教材研究「お話に触れる」 復習:(15分) 選んだ教材を使って実践する									
			8	保育実技④ 廃品を活用して教材づくり、その指導法・発表 (幼稚園教諭課程委員会教員 吉田 裕美子他) 予習:(30分) 身近な材料を使って教材を作る 復習:(15分) 発表を振り返り、改善点を話し合う									
			9	指導計画の意義、指導計画の作成① (ゲストスピーカー 柴田幼稚園 一戸 幸子) 予習:(30分) 指導計画とは 復習:(15分) 活動案について話し合う									
			10	指導計画の意義、指導計画の作成② (ゲストスピーカー 柴田幼稚園 一戸 幸子) 予習:(30分) 子どもの年齢、場面設定を考え活動案を作成する 復習:(15分) 活動案について話し合い、意見を出す									
			11	指導計画の作成と実際、指導案の作成③ (幼稚園教諭課程委員会教員 吉田 裕美子) 予習:(30分) 模擬保育について 復習:(15分) 各班での模擬保育について話し合い、指導案を完成させる									
			12	保育実践力の育成① (ゲストスピーカー 柴田幼稚園 一戸 幸子、幼稚園教諭課程委員) 予習:(30分) 3歳児模擬保育 復習:(15分) 発表を振り返り、改善点を話し合う									
			13	保育実践力の育成② (ゲストスピーカー 柴田幼稚園 一戸 幸子、幼稚園教諭課程委員) 予習:(30分) 4歳児模擬保育 復習:(15分) 発表を振り返り、改善点を話し合う									
			14	保育実践力の育成③ (ゲストスピーカー 柴田幼稚園 一戸 幸子、幼稚園教諭課程委員) 予習:(30分) 5歳児模擬保育 復習:(15分) 発表を振り返り、改善点を話し合う									
			15	実習直前、諸連絡 (幼稚園教諭課程委員会) 予習:(30分) 実習直前における諸連絡 復習:(15分) 実習準備を行う									
教科書・教材			『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』										
参考書・ 参考文献等			特になし										
履修上の 注意等			実習への意欲や期待感を持ち、課題意識に取り組む姿勢で臨む。										
実務経験との 関連			実務経験の有無 有 幼稚園教諭の経験を活かし、幼稚園教諭としての責任感や使命感についての心構えや子どもとの関りについて、教育実習の経験を踏まえ、指導力について探求する科目である。										

【2717】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目		授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科										
教育実習(幼)		実習		吉田裕美子		3年	前期	こども発達学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格					単位認定の方法と フィードバックの有無					
			必修		選択			小学校	幼稚園		保育士							
4				4					○					期末試験				
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目		≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的 理解			≪汎用的技能≫ コミュニケーション スキル 数量的 スキル 情報リテラシー 論理的 思考力 問題 解決力					≪態度・志向性≫ 自己 管理力 チーム ワーク リー ダー シップ 倫理 観 社会的 責任 生涯 学習力					《獲得した能力を総合的に 利用し自ら設定した課題へ適 用し、その課題を解決する 能力》		期末レポート	
		授業内小テスト																
		授業内提出物		20	有													
		授業内活動																
		その他(実習園)		80	有													
		○		-		-		○		○		○		計 100				
														フィードバックの方法				
当該科目の キーワード		≪知識・理解≫ 実習の意義			≪汎用的技能≫ 幼児への関わり方					≪態度・志向性≫ 職員との協働					実習園から返却された実習録等 は、所見と共に返却する			
授業概要		幼稚園教育実習は、幼稚園教諭一種免許状を取得するための必修科目である。幼稚園教諭の職務を体験し、専門的知識・技術・人間性について指導を受けると共に、自ら学ぼうとするなど幼稚園教諭としての資質や技能などを学ぶ能力を身に付けること。										指導案作成、保育の実践、教育実習反省報告会の準備・発表など						
授業の 到達目標		1. 幼稚園の役割と具体的な仕事内容を知る。 2. 幼児の発達について理解する。 3. 指導計画を作成し、研究保育、教材及び指導法の研究を通してクラス経営のあり方を理解する。																
単位認定の要件		実習終了後、各園からの評価を本学所定の評価基準に基づき単位化する。																
授業計画 (予習、復習の内容・ 時間含む)		内 容 【実習期間および日数】 8月中旬～9月下旬 各園に合わせ18日間実施 【実習園】 ①弘前市内および近隣の協力園 9園 ②出身地(県内外)の受け入れ園一公立・私立 10園 【ガイダンス・事前準備】 ・実習準備として事前にガイダンスを数回行う。実習希望者は必ず出席すること。 ・また「事前事後指導」(1単位)において実習にあたっての心構えや園務に関する予備知識および教育活動の基本を学ぶ。 【実習内容】 ・園児の遊びの様子やクラス活動の観察、参加 ・本実習での実習(観察・参加実習、部分実習、全日実習) ・園行事に参加 ・実習中は実習録に日々の活動内容等を記録し、担当教員の指導を受ける。 ・実習中は健康管理に注意し、 実習園では礼節をもって行動し、幼児理解・教育現場の理解につとめる。 ・実習終了後、実習の振り返りとして実習体験記録を作成し、実習生による反省会(2年次との交流会)で活動内容の報告を行う。 【実習実施の認定方法】 ・教育実習に関し、実習希望者は3年次年度初めに本学学則により資格認定審査を受け、教授会において承認を得る。 ・実習先は、承認を受けた者の希望をもとに幼稚園教諭課程委員会が調整し決定する。 【授業時間外学習の指示】 ・教育実習中に必要とされる知識・指導法について学習する。 指導案作りや教材研究などは時間を十分にかけて行い、18日間の実習を全うできるよう日々学習すること。																
教科書・教材		『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』																
参考書・ 参考文献等		特になし																
履修上の 注意等		体調管理に留意し、事前訪問等の内容を確認し準備に努める。																
実務経験との 関連		実務経験の有無	有	幼稚園教諭の経験を活かし、幼稚園教諭としての責任感や使命感についての心構えや子どもとの関りについて、教育実習の経験を踏まえ、指導力について探求する科目である。														

【2803】 専門教育科目 保育士に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
社会福祉			講義	若林一哉	3年	後期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士								
2	15	30		2				○	期末試験							
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート	60	無					
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
当該科目の キーワード	《知識・理解》		社会福祉の諸制度の概要の理解									授業内活動および提出物に対する フィードバックは、講義内において 全体講評および解説の形で実施する。				
	《汎用的技能》		双方向の伝達と表現、論理的思考力、概念化能力													
	《態度・志向性》		ソーシャルワーク(援助)の視点、他者とともに協力して学び合う姿勢									アクティブラーニングの有無 (内容)	有			
授業概要	本講義では、保育士として必要となる社会福祉の基礎的理解を目的に、社会福祉の理念・歴史・制度の仕組みを学ぶ。児童福祉を中心に、障害福祉、高齢者福祉、地域福祉の動向を概観し、現代社会における生活課題と支援の在り方について考察する。また、相談援助や多職種連携の視点を取り入れ、子どもと家庭を包括的に支える専門職としての役割と倫理観を養うことを目指す。理論と実践を結び付けながら理解を深める。										発表、グループディスカッション、グループワーク、調査学習					
授業の 到達目標	1 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子どもと家庭支援の視点について理解する。 2 社会福祉の制度や実施体系等について理解する。 3 社会福祉における相談援助について理解する。 4 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解する。															
単位認定の要件	到達目標に対して総合的に評価し、合計点が60点以上であること。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	オリエンテーション、社会福祉制度の成立背景と存在意義 — 社会福祉の目的と現代社会における役割を理解する 予習：(90分)受講前に、自身の思い描く「社会福祉」のイメージや役割について考え、整理しておくこと。 復習：(90分)授業内容をふり返り、私たちの生活と社会福祉について要約し、自分の考えをまとめる。														
	2	現代社会における多様な生活課題と社会福祉 — 貧困、孤立、少子化、家族形態の変化などの社会問題 予習：(60分)次回授業の教材をClassroomストリームに掲載するため、事前に熟読のうえ、予習を行った旨をコメント欄へ記入すること。 復習：(60分)授業で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。														
	3	社会福祉の歴史的変遷と福祉思想の展開 — 社会福祉の起源から現代社会福祉への歴史的発展 予習：(60分)次回授業の教材をClassroomストリームに掲載するため、事前に熟読のうえ、予習を行った旨をコメント欄へ記入すること。 復習：(60分)授業で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。														
	4	人権の概念と現代社会福祉を支える基本理念 — 尊厳・自立支援・ノーマライゼーション等 予習：(60分)次回授業の教材をClassroomストリームに掲載するため、事前に熟読のうえ、予習を行った旨をコメント欄へ記入すること。 復習：(60分)授業で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。														
	5	社会福祉の法体系と制度の概要 — 社会保障制度と関連法の基本構造 予習：(60分)次回授業の教材をClassroomストリームに掲載するため、事前に熟読のうえ、予習を行った旨をコメント欄へ記入すること。 復習：(60分)授業で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。														
	6	社会福祉施設の機能と社会福祉専門職の役割 — 保育士・社会福祉士等の専門性と多職種連携 予習：(60分)次回授業の教材をClassroomストリームに掲載するため、事前に熟読のうえ、予習を行った旨をコメント欄へ記入すること。 復習：(60分)授業で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。														
	7	ソーシャルワークの理論・意義と機能 — 相談援助の基本的枠組み 予習：(60分)次回授業の教材をClassroomストリームに掲載するため、事前に熟読のうえ、予習を行った旨をコメント欄へ記入すること。 復習：(60分)授業で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。														
	8	ソーシャルワークの対象理解と援助過程・方法・技術 — アセスメント、支援計画、評価の基礎 予習：(60分)次回授業の教材をClassroomストリームに掲載するため、事前に熟読のうえ、予習を行った旨をコメント欄へ記入すること。 復習：(60分)授業で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。														
	9	社会福祉サービスの利用支援と第三者評価 — 利用者主体と権利擁護、サービスの質の保証 予習：(60分)次回授業の教材をClassroomストリームに掲載するため、事前に熟読のうえ、予習を行った旨をコメント欄へ記入すること。 復習：(60分)授業で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。														
	10	生活保護制度の仕組みと現代的課題 — 最低生活保障と自立支援、子どもの貧困との関連 予習：(60分)次回授業の教材をClassroomストリームに掲載するため、事前に熟読のうえ、予習を行った旨をコメント欄へ記入すること。 復習：(60分)授業で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。														
	11	児童の人権擁護と社会福祉 — 児童虐待防止、子どもの最善の利益 予習：(60分)次回授業の教材をClassroomストリームに掲載するため、事前に熟読のうえ、予習を行った旨をコメント欄へ記入すること。 復習：(60分)授業で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。														
	12	児童家庭福祉の制度と支援の実践 — 子育て支援、家庭支援、地域との連携 予習：(60分)次回授業の教材をClassroomストリームに掲載するため、事前に熟読のうえ、予習を行った旨をコメント欄へ記入すること。 復習：(60分)授業で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。														
	13	現代社会における高齢者保健福祉の現状と課題 — 高齢化社会と地域包括ケア 予習：(60分)次回授業の教材をClassroomストリームに掲載するため、事前に熟読のうえ、予習を行った旨をコメント欄へ記入すること。 復習：(60分)授業で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。														
	14	現代社会における障害者福祉と共生社会 — 障害者権利条約、インクルージョンの理念 予習：(60分)次回授業の教材をClassroomストリームに掲載するため、事前に熟読のうえ、予習を行った旨をコメント欄へ記入すること。 復習：(60分)授業で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。														
	15	地域福祉の意義と推進方法／社会福祉の課題とこれから — 地域共生社会の理解と保育者・教育者に求められる福祉的視点(総括) 予習：(60分)次回授業の教材をClassroomストリームに掲載するため、事前に熟読のうえ、予習を行った旨をコメント欄へ記入すること。 復習：(60分)授業で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。														
教科書・教材	教科書は使用せず、授業担当者が作成・配布する資料を主教材として用いる。															
参考書・ 参考文献等	『学ぶ・わかる・みえる シリーズ 保育と現代社会 保育と社会福祉【第4版】』みらい / 『社会福祉』ミネルヴァ書房 / 『福祉小六法』中央法規出版															
履修上の 注意等	本講義はGoogle classroomを活用して実施する。「障害児保育」クラスに授業教材を事前掲載するため、各自PCを持参、または事前に資料をダウンロードのうえ受講すること。															
実務経験との 関連	実務経験の有無	無														

[2816] 専門教育科目 保育士に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
保育実習指導Ⅱ			演習	保育士課程委員会	3年	前期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士				
1	15	30		1					○			
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》		
	—	○	○	—	—	○	○	○	○		○	○
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 保育実習Ⅱの意義・目的の理解									外部講師の講話に関するレポート、模擬保育の相互評価の結果を返却する。 アクティブラーニングの有無(内容) 有		
	≪汎用的技能≫ 保育実践力の形成											
	≪態度・志向性≫ 保育者としての職業倫理・社会的責任											
授業概要	保育実習Ⅰを振り返って各自の学習内容・課題を明確化するとともに、保育実習Ⅱに向けて、既習の教科の内容をふまえて科目横断的に知識・技能を総合し、保育実践力を培うための演習を行う。また、実習施設の理解の深化のために、現場の職員からの講話を聞く機会を設ける。											
授業の到達目標	①保育実習Ⅱの意義・目的を理解し、保育実習Ⅰの振り返りから次の実習に向けた自己課題を明確化できる。 ②保育士の専門性と職業倫理に関する理解を反映した実習計画を立てることができる。 ③実技演習、指導案作成、模擬保育と相互評価等を通して得た知識をもとに保育の現状に即した責任実習の指導計画の作成・実践・改善ができる。 ④実習後の実習総括・自己評価により、保育実践力の向上に向けた新たな課題や学習目標を明確化できる。											
単位認定の要件	授業内提出物・授業内活動・課題レポートの合計点が60点以上であること。											
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容										
	1	保育実習Ⅱの概要、意義・目的、保育実習Ⅰの振り返り 保育実習Ⅰの自己評価・実習録の再点検(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)保育実習Ⅰ・Ⅱの違いを確認すること。また、実習録の記入上の注意点を見直しておくこと。 復習:(90分) 保育実習Ⅰの振り返りを通して保育実習Ⅱでの自身の課題を明確化する。実習録の書き方の改善点を考える。										
	2	子どもの最善の利益と保育士の職務の理解(業務内容と職業倫理)(保育士課程委員会教員) 予習:(90分) 保育所保育指針の中で保育士の職務・児童の最善の利益についての記述を再確認しておく。 復習:(90分) 子どもの最善の利益と職業倫理を踏まえて、保育者としてどのような姿勢で臨むか考えをまとめる。										
	3	保育実技(1)基本的な生活習慣・手洗い・排泄・食事など、はしを持ち方、歯のみがき方(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)子どもの基本的な生活習慣に慣れ、教材を使って指導法を実践する。 復習:(90分) 様々な教材を使って、保育場面に合わせた指導を行う。										
	4	保育実技(2)遊びの指導(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)身近な素材を使ってどんな遊びができるのかを探求する。 復習:(90分) 遊びの展開を考える。										
	5	指導案の書き方(1)部分実習の指導案(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)これまでの授業の指導案の書き方についての資料を見直しておくこと。 復習:(90分) 授業資料を読み直し、内容理解に努め、模擬保育の指導案作成に活かしていく。										
	6	指導案の書き方(2)全日実習の指導案(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)発達過程の復習をし、指導案作成に活かしていく視点をもつこと。 復習:(90分) 授業資料を読み直し、内容理解に努め、模擬保育の指導案作成に活かしていく。										
	7	保育実践力の育成～指導案作成と模擬保育(1班)(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)指導案の提出・修正・再提出、模擬保育の流れを班で確認する。 復習:(90分)模擬保育の振り返りを通して、自己課題を明確化していく。										
	8	保育実践力の育成～指導案作成と模擬保育(2班)(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)指導案の提出・修正・再提出、模擬保育の流れを班で確認する。 復習:(90分)模擬保育の振り返りを通して、自己課題を明確化していく。										
	9	保育実践力の育成～指導案作成と模擬保育(3班)(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)指導案の提出・修正・再提出、模擬保育の流れを班で確認する。 復習:(90分)模擬保育の振り返りを通して、自己課題を明確化していく。										
	10	保育実践力の育成～指導案作成と模擬保育(4班)(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)指導案の提出・修正・再提出、模擬保育の流れを班で確認する。 復習:(90分)模擬保育の振り返りを通して、自己課題を明確化していく。										
	11	保育実践力の育成～指導案作成と模擬保育(5班)(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)指導案の提出・修正・再提出、模擬保育の流れを班で確認する。 復習:(90分)模擬保育の振り返りを通して、自己課題を明確化していく。										
	12	実習施設の理解～保育所保育士講話(縦割り保育、子育て支援)～(外部講師) 予習:(90分)保育所の機能と役割について、異年齢保育や子育て支援を中心に復習しておく。 復習:(90分) 講話で学んだ内容を保育実習Ⅱにどう活かすかを考察する。										
	13	保育所実習Ⅱについて～事前の準備、事前訪問、書類の作成について～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)実習に関する書類を作成するために必要な事項を確認する。 復習:(90分)実習実施要項の内容を確認し事前訪問時に打ち合わせを行う事項を調べる。										
	14	実習中の心得～実習の心得、諸注意、連絡事項～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)保育実習Ⅱの目標及び評価票の項目をもとに、保育実習Ⅱで実習生に求められている内容を把握する。 復習:(90分)今回までの授業で学んだことを整理し、実習に向けた準備を行う。										
	15	事後指導(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)実習に関するアンケート・自己評価に回答しておく。 復習:(90分) グループワークの内容をもとに保育者としての自己課題を明確化する。										
教科書・教材	厚生労働省編『保育所保育指針』フレーベル館 厚生労働省編『保育所保育指針解説』フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館											
参考書・参考文献等	内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館											
履修上の注意等	配布した参考資料は大事に保管し、予習・復習すること。 実習終了後の反省報告会には必ず出席すること。											
実務経験との関連	実務経験の有無	有 (吉田・工藤(千))幼児教育の現場経験を有する教員が実習指導案作成と模擬保育について指導を行う。										

【2817】 専門教育科目 保育士に関する科目		授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科									
保育実習Ⅱ		実習		保育士課程委員会		3年	後期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数		卒業要件				免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無						
2		必修		選択		小学校	幼稚園	保育士		期末試験							
				2				○		期末レポート							
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》						
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク		リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力		
	○	—	—	○	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	授業内小テスト		
															授業内提出物		
															実習施設の評価	60	無
															大学の評価	40	無
															計	100	
															フィードバックの方法		
当該科目のキーワード	《知識・理解》		既習科目と保育実習Ⅰを踏まえた保育の理解									実習録の記入状況を保育士課程委員会が評価し、講評を添えて返却する。					
	《汎用的技能》		保育実践力の形成と向上									アクティブラーニングの有無(内容)		有			
	《態度・志向性》		保育者としての協働性														
授業概要	本実習は保育実習Ⅱ(保育所・園)として、保育実習Ⅰ(保育所・園)における学習と反省をふまえ、保育所の保育に参加して実践し、保育士として必要な資質・能力・技術を習得する。また、家庭と地域の生活実態に触れ、子ども家庭福祉ニーズに対する理解、判断力を養う。											保育実践への参加、指導計画の作成と実践、省察による保育実践力の学習					
授業の到達目標	①具体的な実践を通じて得た保育所の役割や機能に関する理解を説明できる。 ②子どもの観察や関わりの視点の明確化を通じて得た保育に関する理解の内容を説明できる。 ③既習科目で得た知識・技能と保育実習Ⅰの経験をもとに保育と子育て支援に関する理解の内容を説明できる。 ④保育の計画・実践・観察・記録と自己評価等への取り組みを通じて得た保育実践への理解を説明できる。 ⑤保育士の業務内容・職業倫理について、具体的な実践と関連付けて理解しその考察を説明できる。 ⑥実習で得た学びの内容を省察し、保育実践力向上に向けた課題と目標を具体的に設定できる。																
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。																
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)	10日間の本実習については、参加実習、指導実習が中心になる。 指導内容や日程計画については、実習園の事情や実習生の状況に応じて下記の内容で指導を適宜お願いする。 1. 保育所の役割や機能の具体的転回 (1)養護と教育が一体となって行われる保育の理解 (2)保育所の社会的役割と責任 2. 観察に基づく保育の理解 (1)子どもの心身の状態や活動の観察 (2)保育士等の援助や関わり (3)保育所の生活の流れや展開の把握 3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会などとの連携 (1)環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育 (2)入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援 (3)関係機関や地域社会との連携・協働 4. 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価 (1)全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解 (2)作成した指導計画に基づく保育の実践と評価 5. 保育士の業務と職業倫理 (1)多様な保育の展開と保育士の業務 (2)多様な保育の展開と保育士の職業倫理 6. 自己の課題の明確化 【授業時間外学習の指示】 実習記録の作成を通じて毎日の実習目標の設定とその達成状況への省察を行い、新たに課題を見出すよう努めること。																
教科書・教材	厚生労働省編『保育所保育指針』 厚生労働省編『保育所保育指針解説』フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館																
参考書・参考文献等	幼少年教育研究所編『新版 遊びの指導—乳・幼児編—』同文書院 岩崎淳子・及川留美・柏谷亘正(編)『教育課程・保育の計画と評価 書いて学べる指導計画』萌文書林																
履修上の注意等	体調管理を徹底するとともに、事前訪問時の指導内容を理解した上で準備を整えて実習に臨むこと。 実習録・自己評価票等の書類提出期限を厳守すること。																
実務経験との関連	実務経験の有無	有	(吉田・工藤(千))幼児教育の現場での勤務経験を有する教員が実習期間中に巡回訪問指導を行う。														